

サインリスト

サイン工事 特記事項

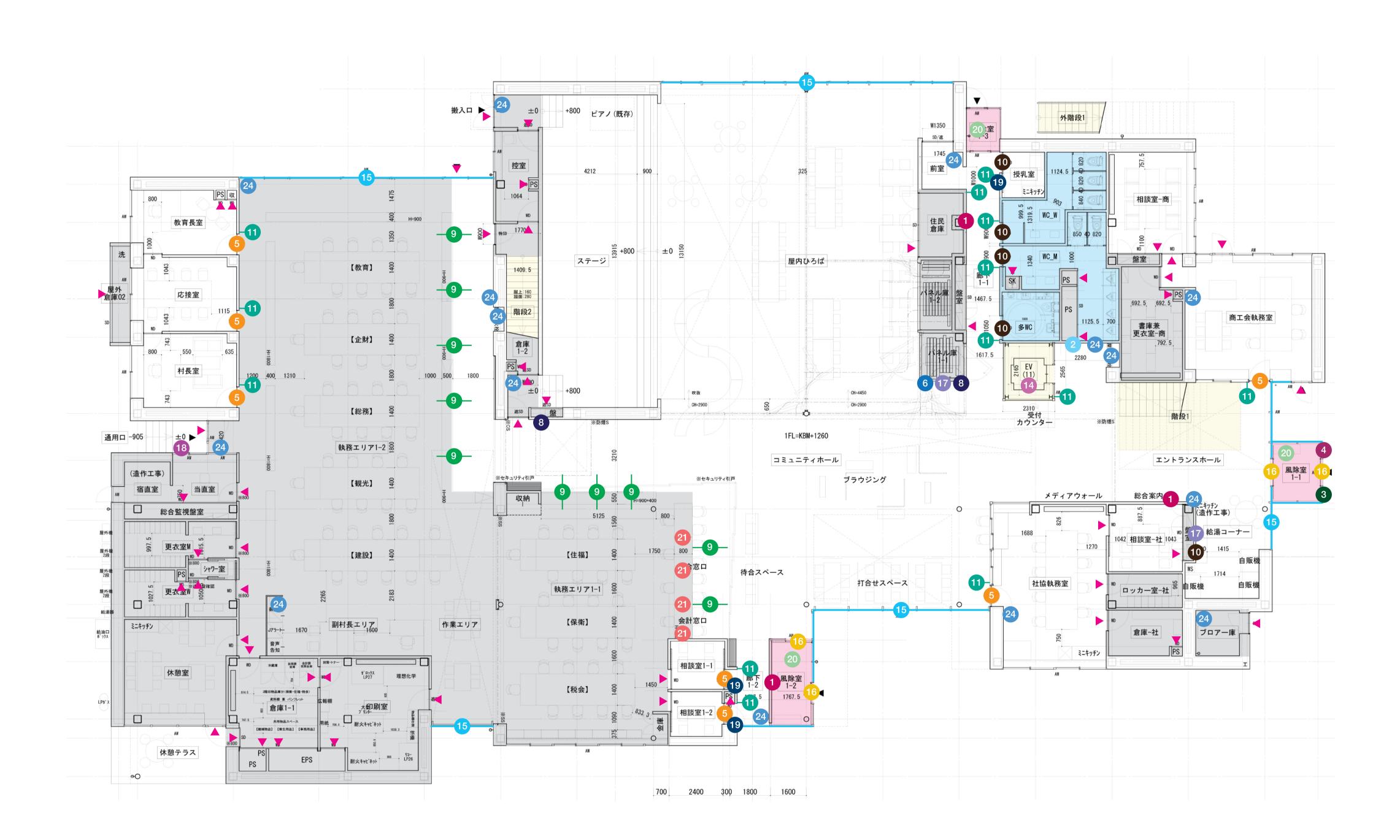
	1F	2F	外構	 総数	取付	 照明	サンプル	製作図		_			
	2	21	> 1 113	2	壁	711 73			Min S	_			
02.フロアマップ	1	1		2							1.総記	樹脂板	特記が無い場合以下を標準とする
03.庁舎名称サイン	1			 1	 壁					_	1.100 DD	1到 0日 1/文	a.メタアクリル樹脂板はJIS-K-6718とする。
04.エントランスサイン	1			<u>·</u> 1	ガラス					_	本設計図書は、サインリスト、特記事項、サインプロット図、意匠図から成る。		1.切断面、切り抜き部分の見えがかり部はバフ仕上げとする。
05.室名サイン	7	11		18	壁·建具					_			2.接着材は融合型接着材を使用し、接着面に気泡、ゴミが入らないものとする。
06.名称サイン	1	2		3	壁					_			3.静電気防止処理は監督職員の指示による。
07.バックヤードサイン	51	22		73	建具					_	2.共通事項		b.硬質塩化ビニール板はJIS-K-6745とする。 c.アクリル変性高衝撃塩化ビニール板の加工はメーカー仕様とする。
	2	2		4	 壁					— 適用範囲	本計画に付設される案内板・室名札等のサイン及び移動式サインの全てに適用する。		d.偏光アクリル樹脂板の加工はメーカー仕様とする。
09.窓口天吊サイン	10			10	 天井					_			e.アルミポリエチレン積層板の表面加工はアルミ材料に準ずる。
10.ピクトグラムサイン	5	3			壁•建具					一一一般事項	a.屋外大型サイン等の場合に 当該特記事項の仕様を超える範囲は、		f.強化ポリエステル材はガラス繊維補強法、仕上げを含めメーカー仕様及び
11.突出サイン	13	12		25	<u> 基 </u>					_	日本建築学会建築工事標準仕様書(JASS)及び		特記による。
13.カウンターサイン	10	1		1	 壁					_	日本建築学会制定各種指針の規定を基準とする。 b.仕上げ材は、工事に先立ち見本を提出して、監督職員の承諾を受ける。		g.切り文字は糸面取りとする。
14.EV内フロアリスト	1	'		<u>'</u> 	EV内						C.設計図に基づき必要な製作図、施工図を作成し、監督職員の承諾を受ける。	ガラス	特記が無い場合以下を標準とする
	52m	14m		66m	ガラス					_	d. サイン施工前に、原寸出力、実仕様サンプルの作成(費)を見込み、監督職員の承諾を受ける。		a. 板ガラスは普通板、フロート、みがき、型板、合わせ、
16.闺夫的正 16.自動扉サイン	4	14111		Δ Δ	アンベ EV内					_	e.サイン施工前に、現場検証を監督職員等参加のうえで行い承諾を受ける。		強化など全ての種類はJIS規格製品とする。
		1		6							f.サイン施工前に、現場調査をし、設計及び監督職員に報告すること。		b.ガラスの取付け用材のすべては見本を提出し監督職員の承諾を受ける。
17.利用案内サイン	2	4		0	壁					_	g.特定の製品の指示がある場合は、そのメーカー仕様による。		C.ガラスの接着方法は接着剤、粘着シート、テープ類を含め監督職員と協議の上
18.インターフォン表示		0		<u> </u>	壁					_	h.耐震施工は、建築設備耐震設計・施工指針(日本建築センター)による。		決定する。 d.人が触れる部分の仕上げに関しては安全性を十分に考慮して制作すること。
19.在室表示	4	2		6	壁						工事の施工、建物の使用の開始に必要な官公署その他への手続きは速やかに		G.ノヘクカス v の HP カックエエ v / v \cap 大り \cap は 女 エ \cap エ \cap エ \cap ルトラ \cap は \cap ト \cap の \cap に
20.多目的スタンド	3	2		5	自立					一の手続き	おこなう。	表面処理	a.スチール鋼材は全てサビ止め塗装(2液エポキシ塗料)を施した上で、
21.窓口仕切板	4			4	壁					_			指定された仕上げを施すこと。
24.消火器/消火栓サイン	15	10		25	消火器·消火栓					_	0.46 ++ >4		
					D# 34 -					_	3.施工基準	塗し装	a. 外部設置アイテムは指定色フッ素樹脂焼付塗装とすること。 b. 内部設置アイテムは指定色ポリウレタン樹脂焼付塗装とすること。
L1.図書館案内サイン		1			壁•建具						a.設計図書及び監督職員の指示に従い、建築基準法消防法、その他関係ある法令、		D. 内部設直アイテムは相足巴ホリリレダン倒相焼竹空表とすること。
L2.自立書架番号サイン		16		16	書架						指針を厳守しかつ電気設備技術基準及び内線規定ならびに配線規程に適合		
L3.自立書架側板サイン		16		16	書架					_	するように施工する。		5.表示面その他
L4.仕切板サイン		150		150	書架					_	b.電気用品取締法の適応を受けるものは形式認可済みのものを使用する。		
L5.分類表サイン		2		2	壁		_	-		_	ただし制限外申請にて許可されたものはこの限りでない。	文字・ピクトグラム	a.サインに使用する書体はタイプフェイスの通りとする。
L6.返却日サイン 		1		1	置き式						また規格制定なきものは官公署及び所轄電力会社の検査合格及び監督職員の 承諾を受ける。		b.文字の高さについては和字は「木」の高さ,英字は「H」の高さ、 数字は「1」の高さをそれぞれ基準とする。
L7.禁止サイン(卓上) 		7		7	置き式					_	c.JIS·JEC(電気規格調査会標準規格)·JEM(日本電気工業会標準規格)に		C.文字間隔については文章は詰め送りとし、室名などの短い文字組は別紙の
										_	制定のあるもので特記が無い場合はこれに適合したものを使用する。		レイアウトを基本とする。
○.外構ピクトグラムサイン(自立) 			4	4	自立	\bigcirc							また字の間隔は視覚的に等しく見えるように調整配列する
D.外構ピクトグラムサイン(路面)			8	8	床面					電照型の仕様 	a.電灯、コンセント類		
E.外構ピクトグラムサイン(壁付) 			1	1	壁面	\bigcirc					LED、白熱灯、蛍光灯、コンセント、スイッチ等の形式は特記による。 使用する部品のカタログ等を提出し監督職員の承諾を受ける。	レイアウト図	図は特記の無い場合以下の要領で作成する。 a.文字及び図形等の拡大縮小指定原版を用い写真操作によって忠実に再現する。
F.外構駐車場入口サイン			1	1	自立					_	1.配線の経路、コードの種類は監督職員と協議して決定する。		また拡大時における変形は入念に修正し監督職員の承諾を受ける。
G.関係者用駐車場サイン(自立)			1	1	自立					_	2.器具の取付けに当っては器具内の温度が過度に上昇しないよう、空気抜き等を設け、		
										_	電球の性能低下や寿命の低下の無いよう注意する。	デジタル出力	デジタル出力品は特記のない場合下記による。
											3.放電灯器具の金属部には全てD種接地工事を施す。		a. 色については現物見本を提出して、監督職員の承諾を受ける。
											4.工事完了後、点灯試験及び絶縁抵抗測定を行い、その結果を報告する。 b.電照式サインの指定色は照射及び透過された光が肉眼で知覚された色とする。		b.出力画像を保護し耐候性や耐水性、防汚性を高める専用フィルムで ラミネートする。
											したがって指定の光源を用いた実験体により色彩を調整し、サンプルにて		C. 設置する場所に応じ出力機の選定を行う。
										_	監督職員の承諾を受ける。		d.透明フィルム使用の際はPET素材とし、白インキ対応の出力機とする。
										_			
												グラフィック原稿	a.多言語表記に応じた、翻訳の費用を見込むこと。
										_	4.材料及び工法		b.点字サインに必要な点訳の費用を見込むこと。
										 	特記が無い場合以下を標準とする	グラフィックデータ	a.サイン表示面の製作に際しては、監督員と協議の上、
										Pr.J `!*J	a.鋼材はJIS規格品を使用する。	作成について	専門の担当者を配置し、必要なグラフィックデータ原稿の作成と
										_	b.屋外部に使用される場合の防錆処理は溶融亜鉛メッキとするか、		現場打合せ及び指示確認による経費を見込むこと。
										_	電気亜鉛メッキ鋼板を使用すること。その他の処理とする場合は、		b.バックヤードサインは、設計図に基づいた版下データを施工者側で作成し、
										_	監督職員と協議して決定する。		監督職員の承諾を受ける。
											c.ステンレスはSUS304とする。		
										— アルミ材	特記が無い場合以下を標準とする		6.工事範囲
											a.アルミニウム合金板はJIS-H-4000-1970「アルミニウム及び		
										_	アルミニウム合金の板及び条」二種(A-5052-H-32)とする。	基礎工事	サイン本体を設置するにあたり必要な基礎工事はサイン工事とする。
										_	b.異種金属による電気腐食の防止法は絶縁処理を施す。	┬ ュル ┯ ≠	エハ ナルを記案チャにととしほう にぶままてはてまいにう てました
										— 粘着シート材	特記が無い場合以下を標準とする	下地工事	サイン本体を設置するにあたりサインに必要な下地工事はサイン工事とする。
											a.外部に使用するシート類は耐候性能(5年間色の変化、ひび割れ、 はがれ、ゆがみが生じない)を有するものとする。	足場架設工事	サイン本体を設置するにあたりサインに必要な足場架設工事はサイン工事とする。
		-										照明工事	一次側電源は別途工事(電気工事)とする(タイマー、スイッチ、コンセント設置を含む)。
													二次側結線及び配線はサイン工事とする。
													内照式サイン(照明内蔵タイプ)の二次側結線及び照明器具はサイン工事とする。
										_			
						>	※照明:◎=	=一次電源	が必要 ○=外部照明にて照	射			
							_	_ ·· •					

特記	工事名称	図面尺度	日付	区分	図面番号
【参考(別途工事)】	東秩父村新庁舎建設工事				
	図面名称			サイン	A-122
	サインリスト・特記事項				

S=1/100(A1)

1Fサインプロット図

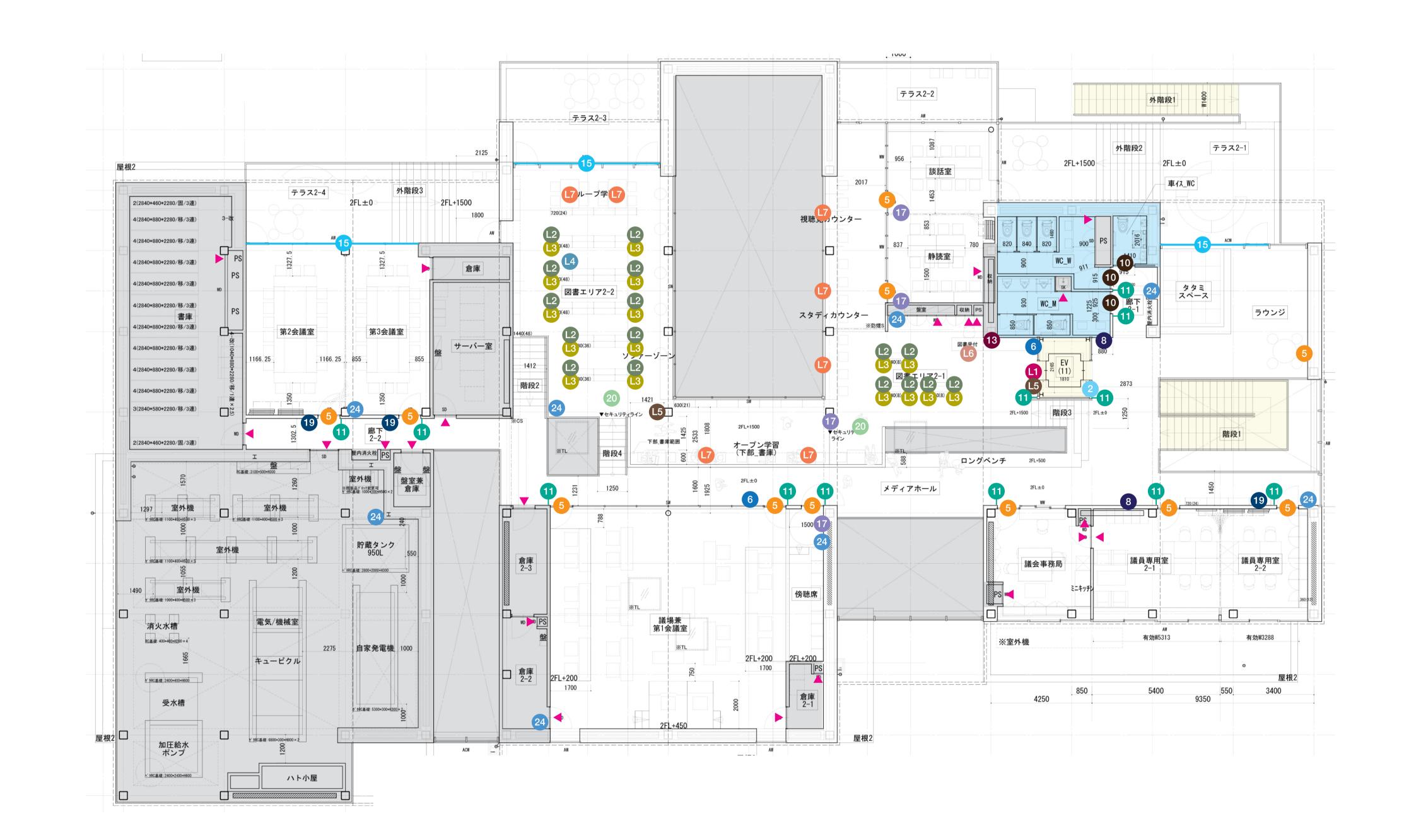
- 1 総合案内サイン
- 2 フロアマップ
- 3 庁舎名称サイン
- 4 エントランスサイン
- 5 室名サイン
- 6 名称サイン
- 7 バックヤードサイン …▲
- 8 誘導サイン
- 9 窓口天吊サイン
- 10 ピクトグラムサイン
- 111 突出サイン
- 12 階数サイン
- 13 カウンターサイン
- 14 EV内フロアリスト
- 15 衝突防止
- 16 自動扉サイン
- 17 利用案内サイン
- 18 インターフォン表示
- 19 在室表示
- 20 多目的スタンド
- 21 窓口仕切板
- 22 避難経路図
- 24 消火器/消火栓サイン
- 1 図書館案内サイン
- L2 自立書架番号サイン
- L3 自立書架側板サイン
- 4 仕切板サイン
- L5 分類表サイン
- L6 返却日サイン
- 17 禁止サイン(卓上)
- A 外構総合案内サイン
- 外構誘導サイン(自立)
- C 外構ピクトグラムサイン(自立)
- D 外構ピクトグラムサイン(路面)
- **E** 外構ピクトグラムサイン(壁付)
- 外構駐車場入口サイン
- G 関係者用駐車場サイン(自立)



S=1/100(A1)

2Fサインプロット図

- 1 総合案内サイン
- 2 フロアマップ
- 3 庁舎名称サイン
- 4 エントランスサイン
- 5 室名サイン
- 6 名称サイン
- 7 バックヤードサイン …▲
- 8 誘導サイン
- 9 窓口天吊サイン
- 10 ピクトグラムサイン
- 11 突出サイン
- 12 階数サイン
- 13 カウンターサイン
- 14 EV内フロアリスト
- 15 衝突防止
- 16 自動扉サイン
- 17 利用案内サイン
- 18 インターフォン表示
- 19 在室表示
- 20 多目的スタンド
- 21 窓口仕切板
- 22 避難経路図
- 23 三禁サイン
- 24 消火器/消火栓サイン
- 11 図書館案内サイン
- L2 自立書架番号サイン
- L3 自立書架側板サイン
- 4 仕切板サイン
- L5 分類表サイン
- L6 返却日サイン
- 性が 禁止サイン(卓上)
- A 外構総合案内サイン
- 外構誘導サイン(自立)
- C 外構ピクトグラムサイン(自立)
- 外構ピクトグラムサイン(路面)
- **E** 外構ピクトグラムサイン(壁付)
- 外構駐車場入口サイン
- G 関係者用駐車場サイン(自立)



Plot_外構

S=1/400(A1)



外構サインプロット図

2 フロアマップ

3 庁舎名称サイン

4 エントランスサイン

5 室名サイン

6 名称サイン

7 バックヤードサイン … ▲

8 誘導サイン

9 窓口天吊サイン

10 ピクトグラムサイン

111 突出サイン

12 階数サイン

13 カウンターサイン

14 EV内フロアリスト

15 衝突防止

16 自動扉サイン

17 利用案内サイン

18 インターフォン表示

19 在室表示

20 多目的スタンド

21 窓口仕切板

 22
 避難経路図

 23
 三禁サイン

24 消火器/消火栓サイン

1 図書館案内サイン

L2 自立書架番号サイン

13 自立書架側板サイン

4 仕切板サイン

L5 分類表サイン

L6 返却日サイン

17 禁止サイン(卓上)

A 外構総合案内サイン

外構誘導サイン(自立)

C 外構ピクトグラムサイン(自立)

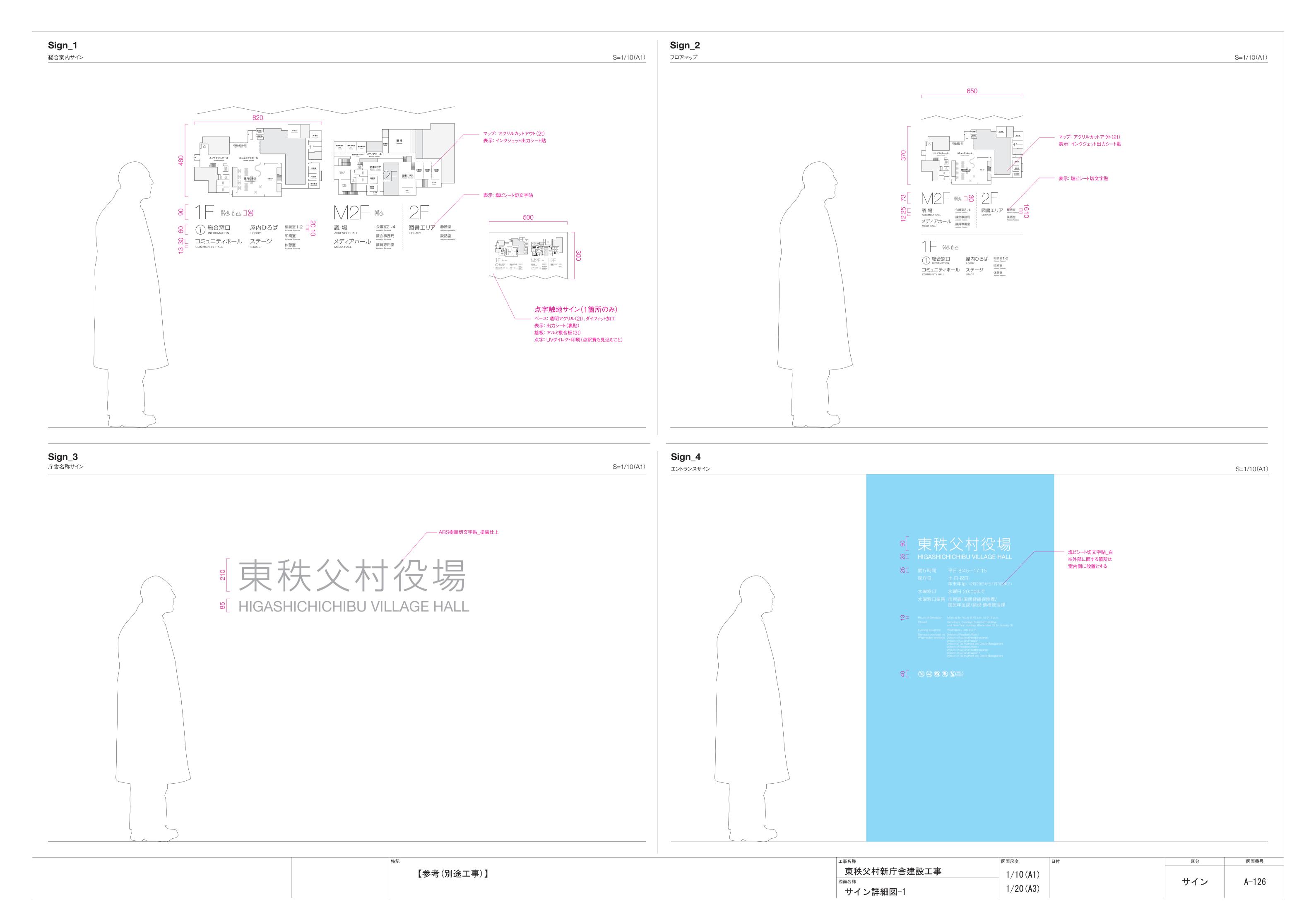
外構ピクトグラムサイン(路面)

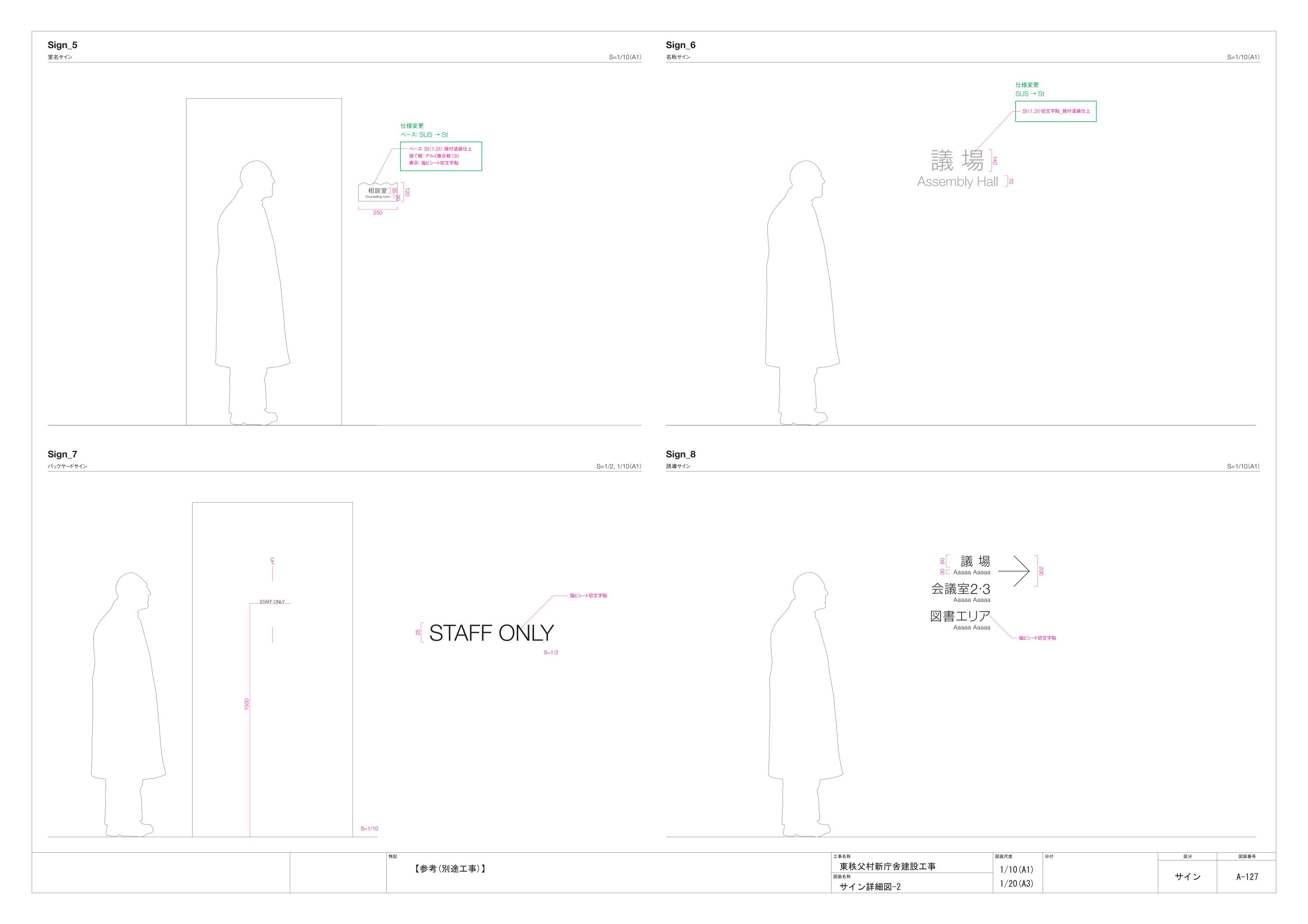
外構ピクトグラムサイン(壁付)

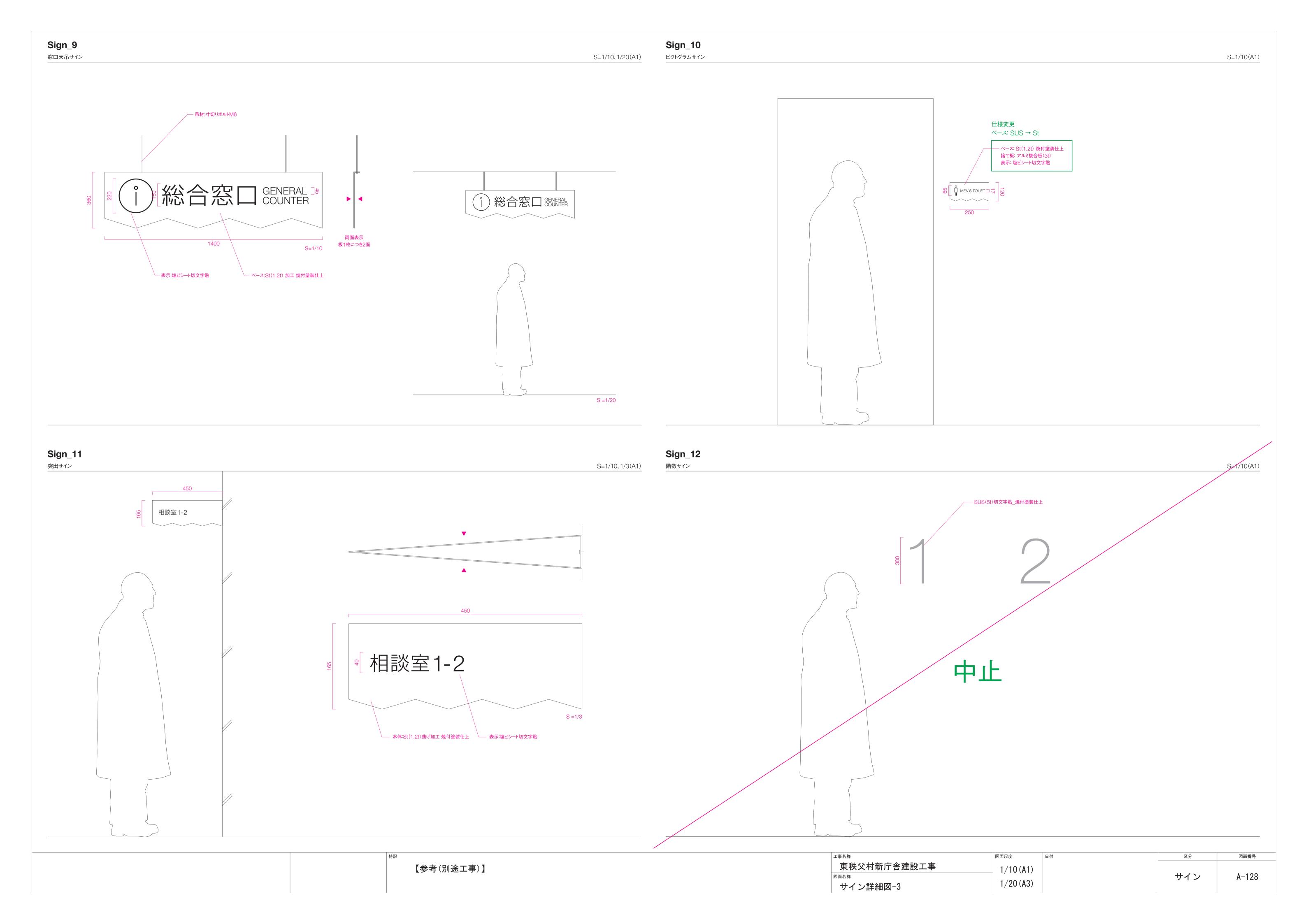
序 外構駐車場入口サイン

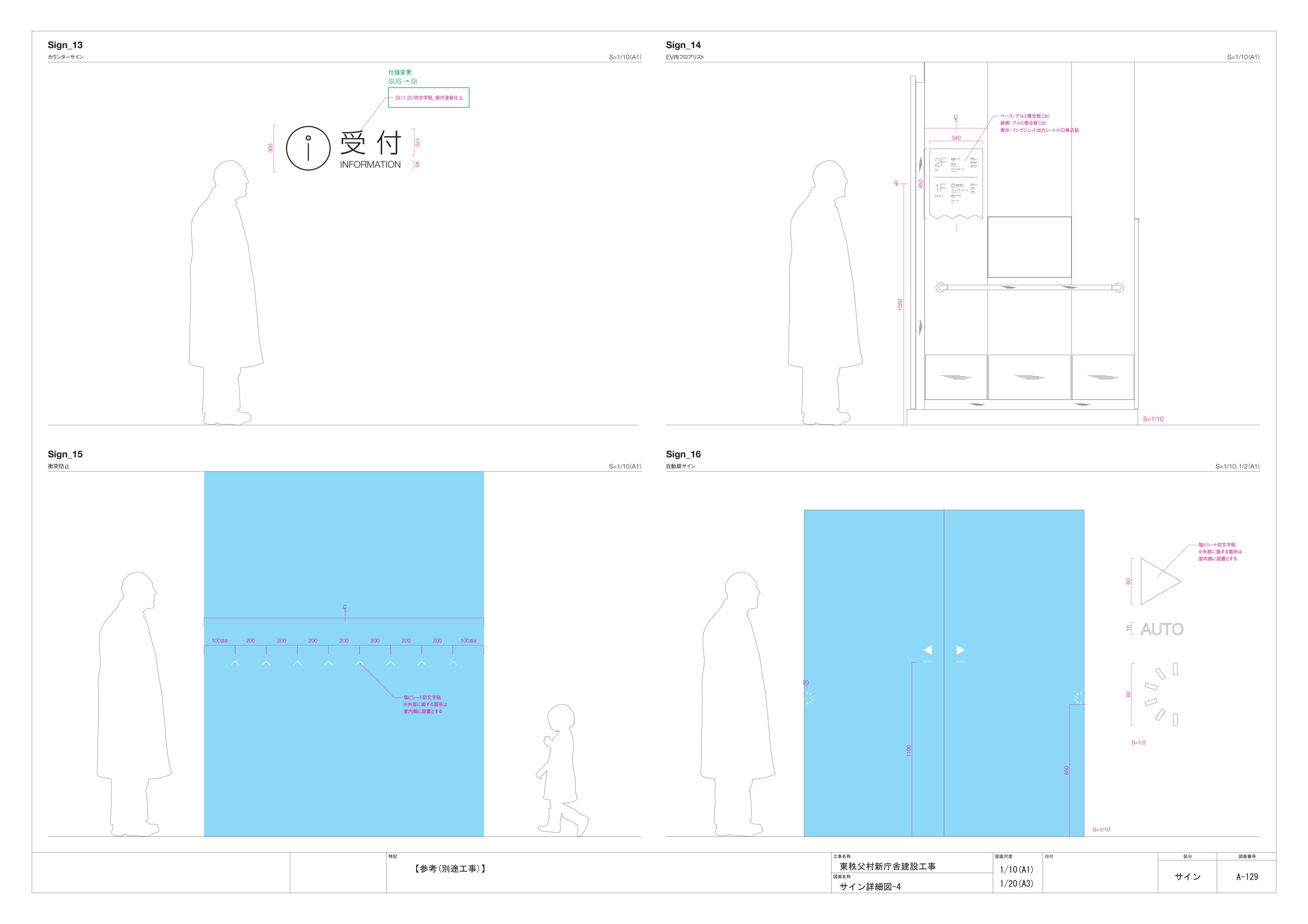
G 関係者用駐車場サイン(自立)

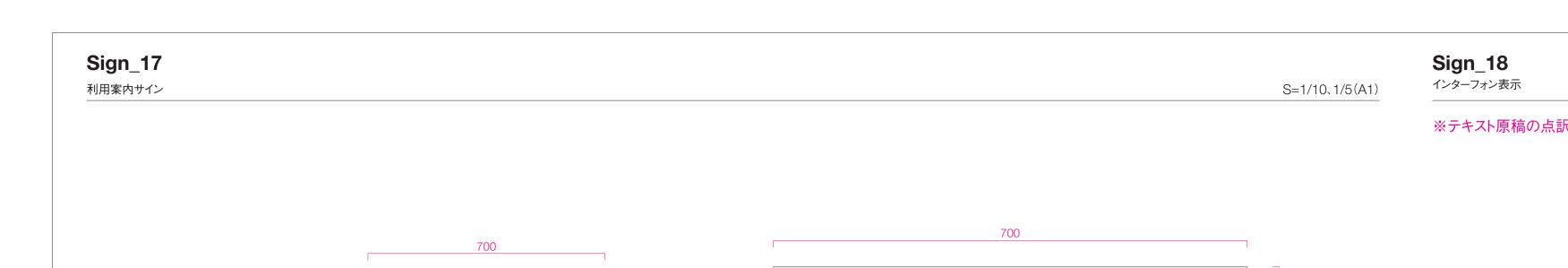












※テキスト原稿の点訳化にともなう費用を見込むこと

Sign_20

多目的スタンド



 Sign_19

 在室表示
 S=1/1(A1)

—— アクリル_塗装_(3分ツヤ)

107

228

240 —UCHIDA サインスタンド,

S=1/10

使用中

- 使用中窓開閉プレート 表示:インクジェット出力シート貼

S=1/1

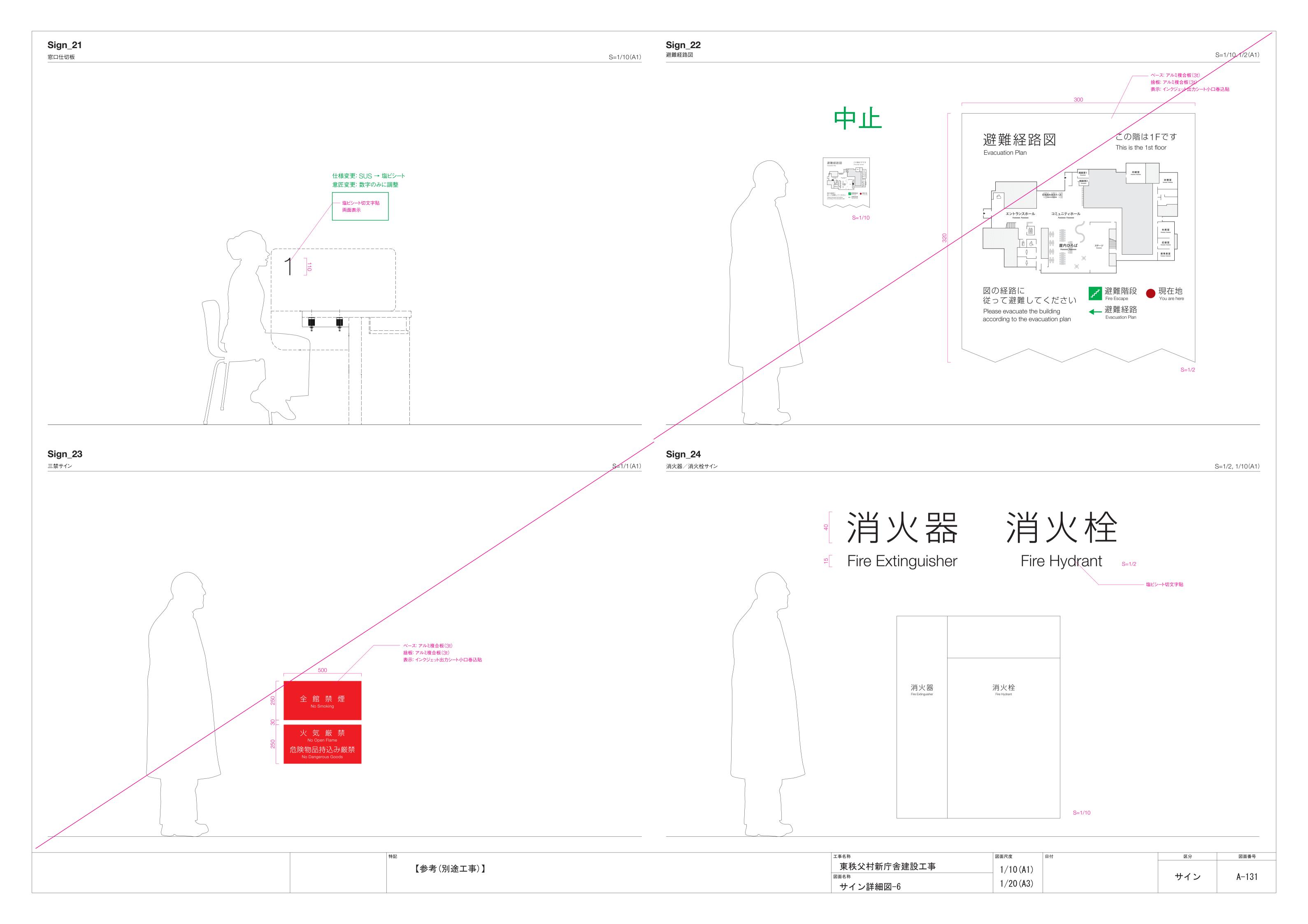
【参考(別途工事)】

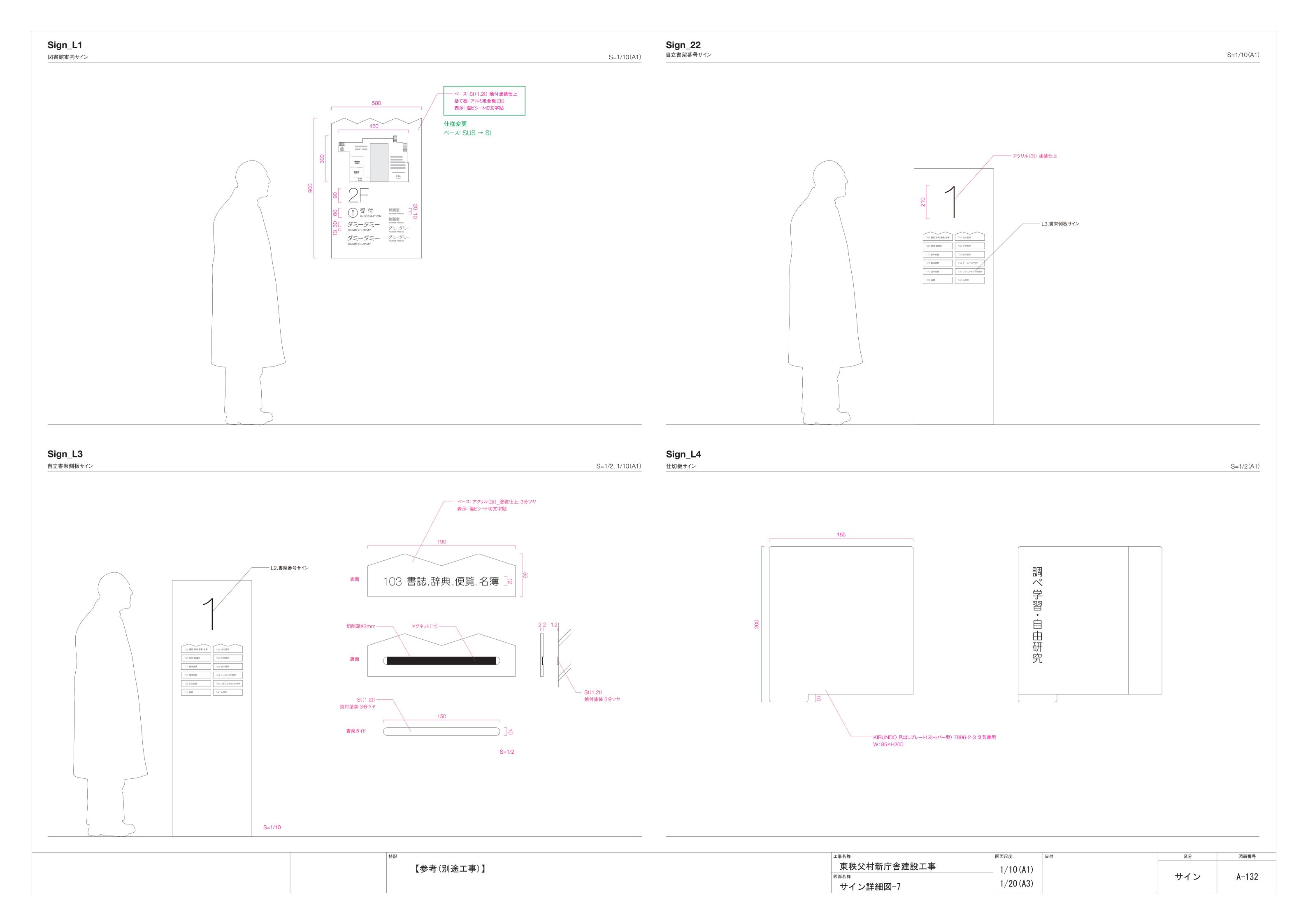
サインスタンドA4横(84051221)
- 表示: A4用紙に出力
- 連禁仕上(3分ツヤ)

 東秩父村新庁舎建設工事
 1/10 (A1)

 図面名称
 サイン詳細図-5

S=1/10(A1)

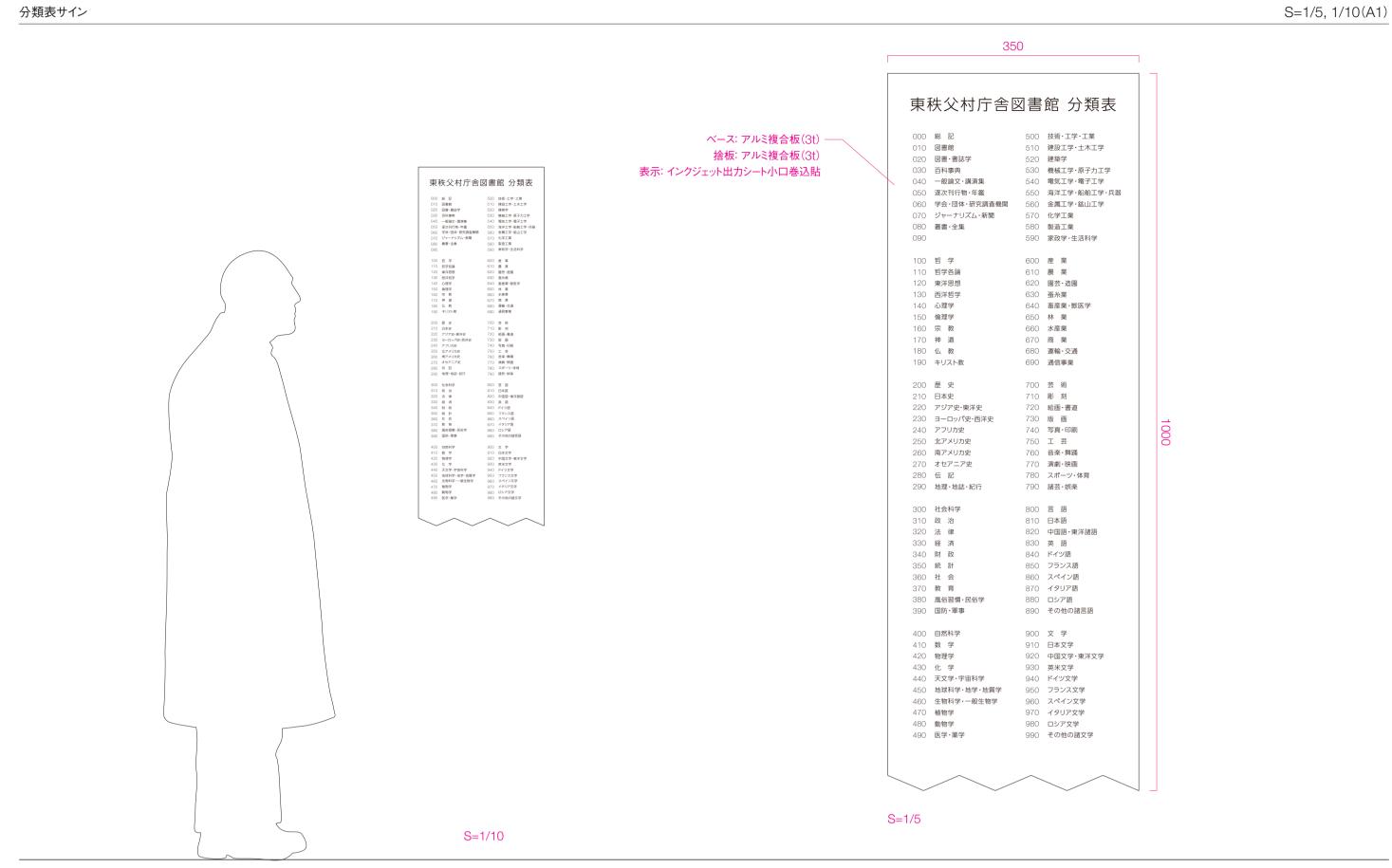




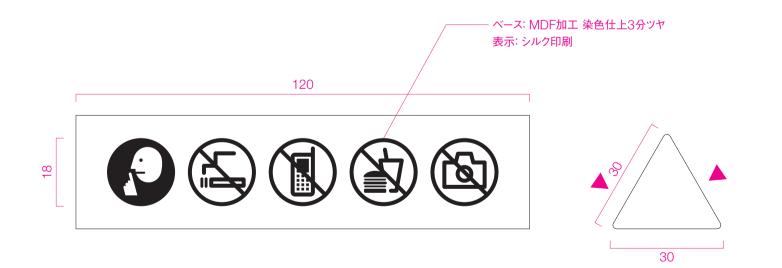
禁止サイン(卓上)

Sign_L6 返却日サイン

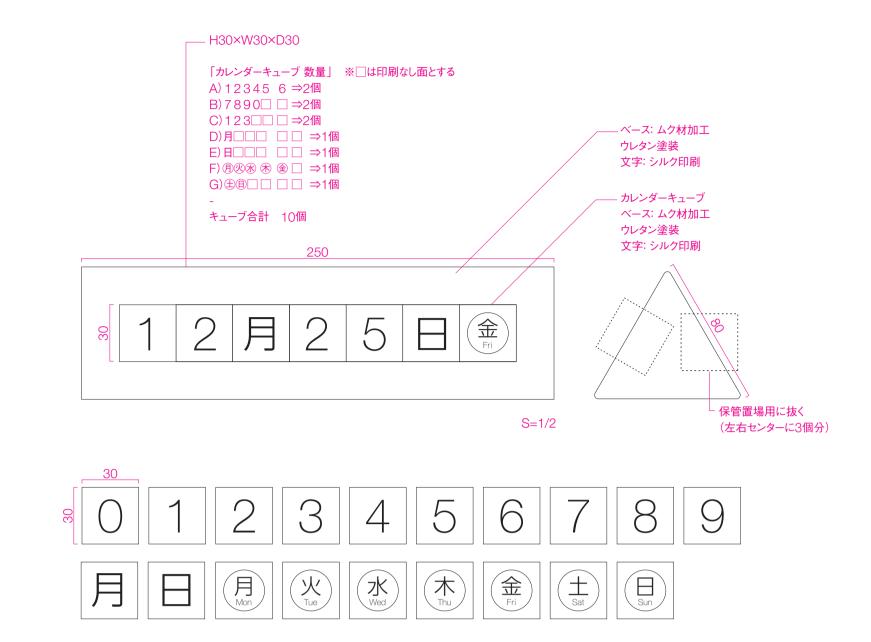
S=1/1(A1)



Sign_L7

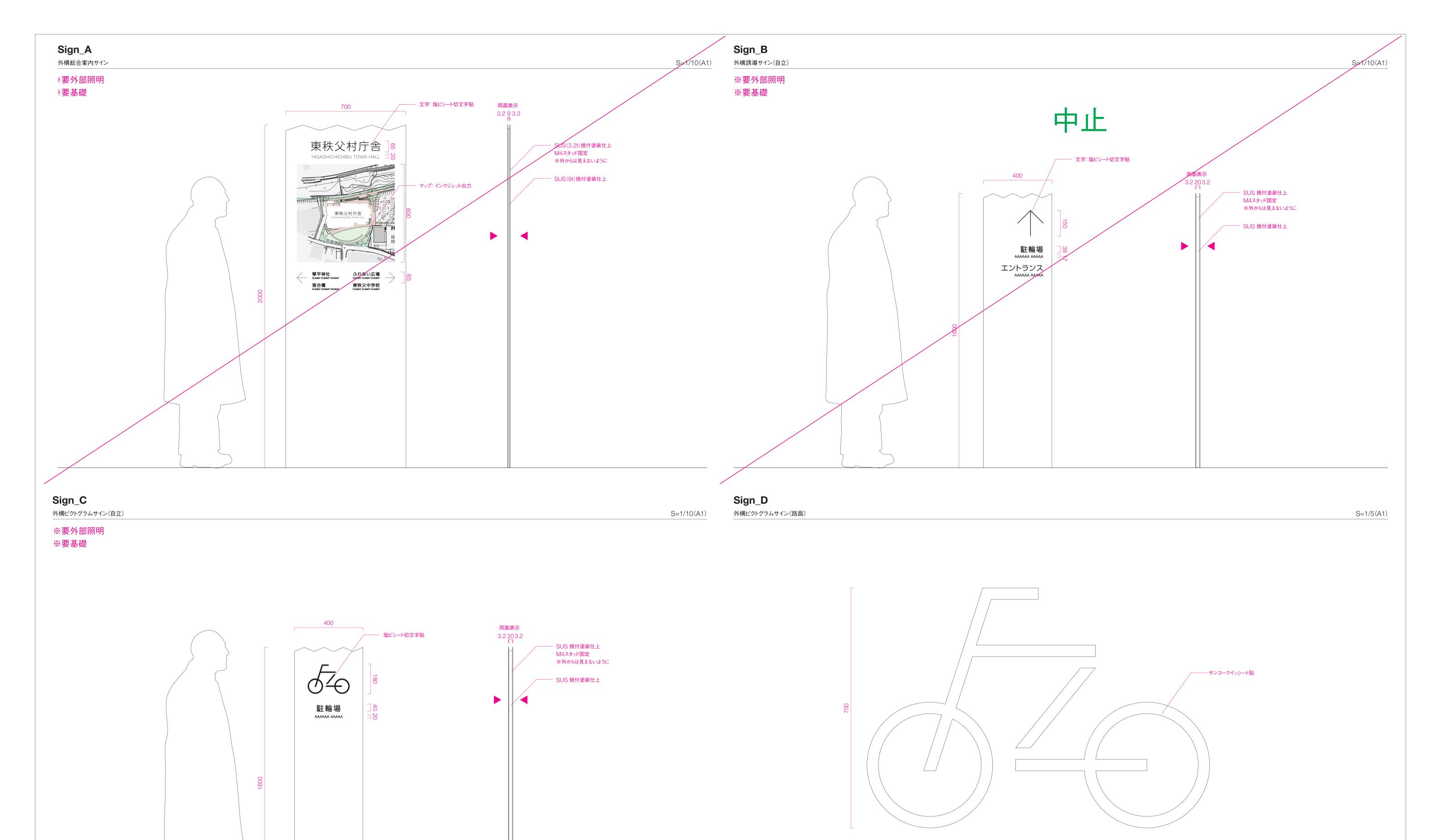


【参考(別途工事)】



S=1/2(A1)

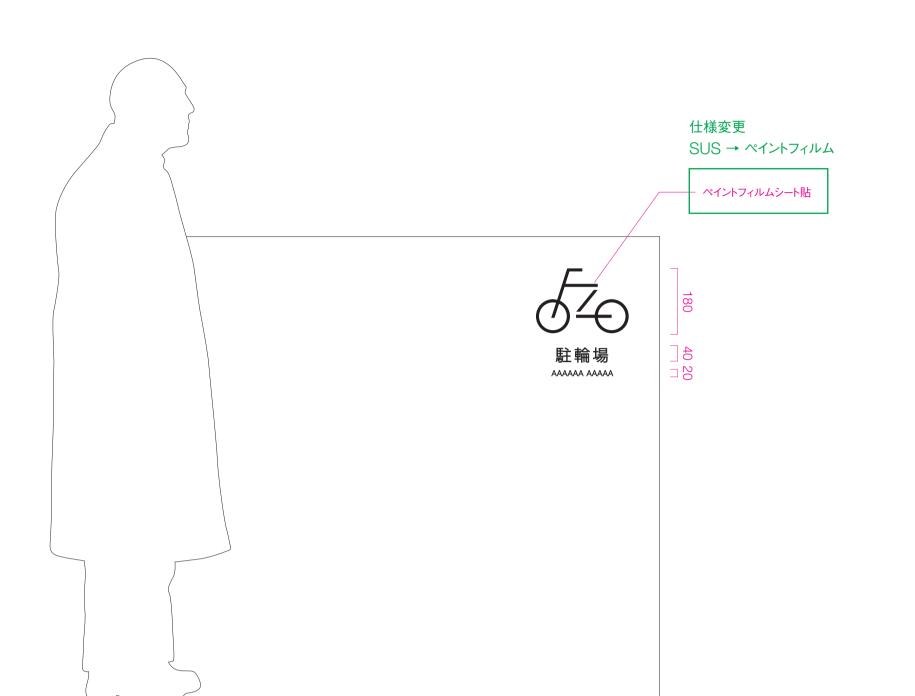
エ	事名称	図面尺度	日付	区分	図面番号	
	東秩父村新庁舎建設工事	1/10 (A1)				
図	面名称			サイン	A-133	
	サイン詳細図-8	1/20 (A3)				



特記	工事名称	図面尺度	日付	区分	図面番号
【参考(別途工事)】	東秩父村新庁舎建設工事 ^{図面名称} サイン詳細図-9	1/10 (A1) 1/20 (A3)		サイン	A-134



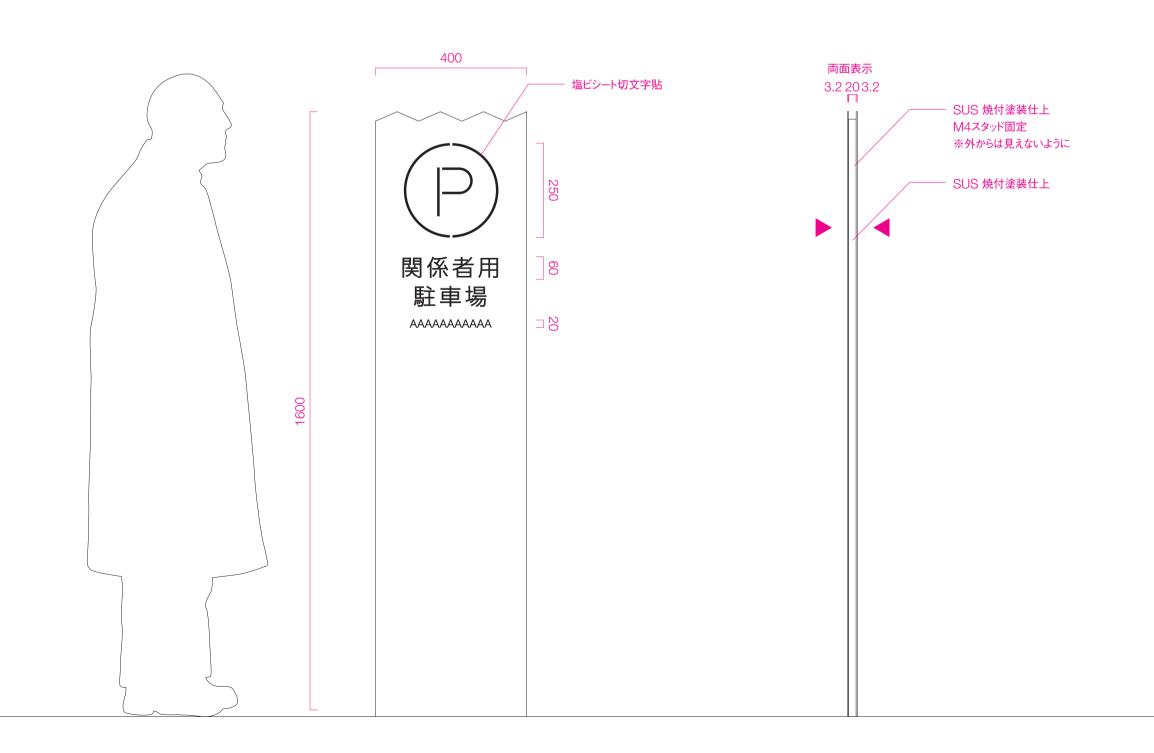




Sign_G 関係者用駐車場サイン(自立)

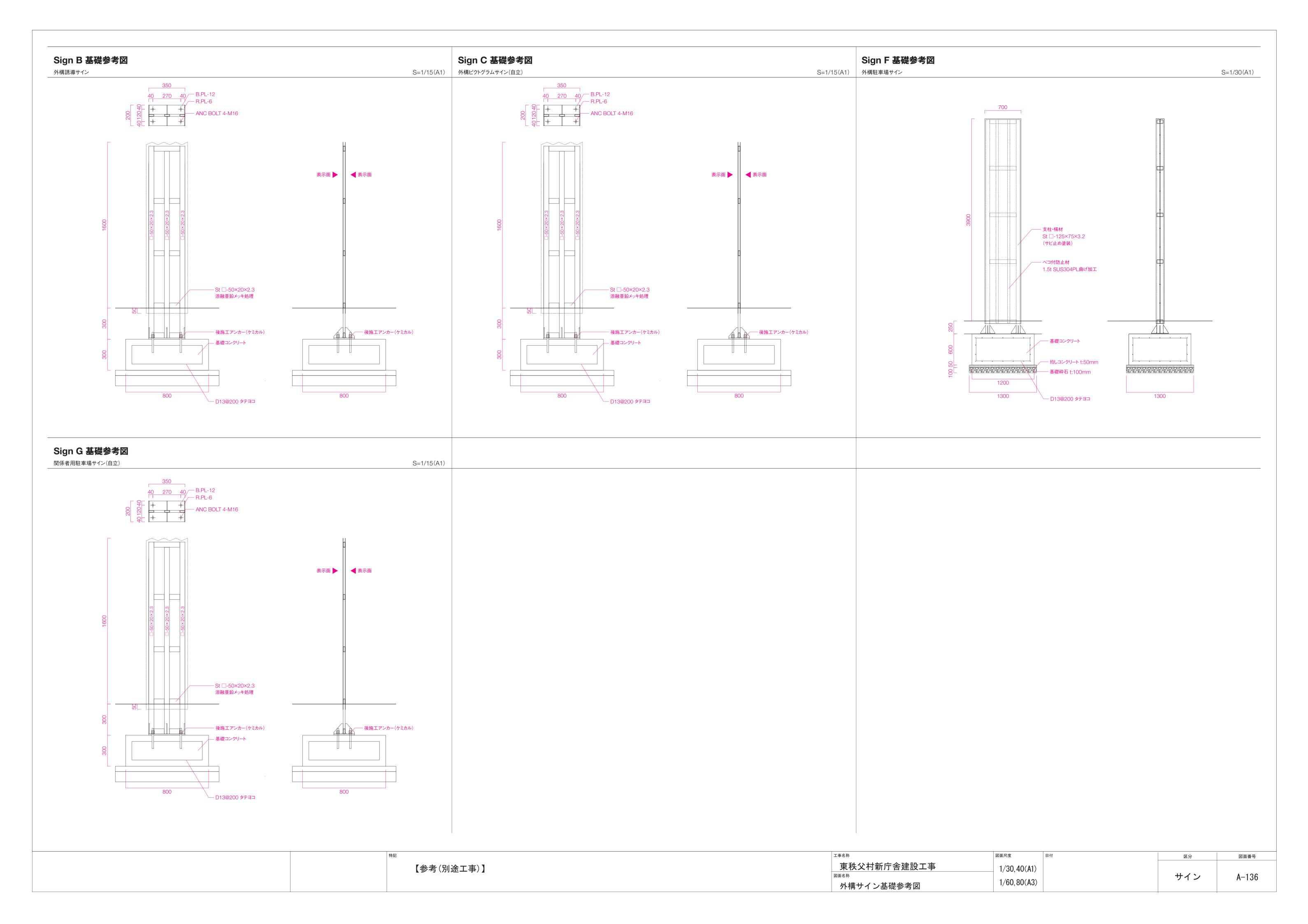
S=1/10(A1)

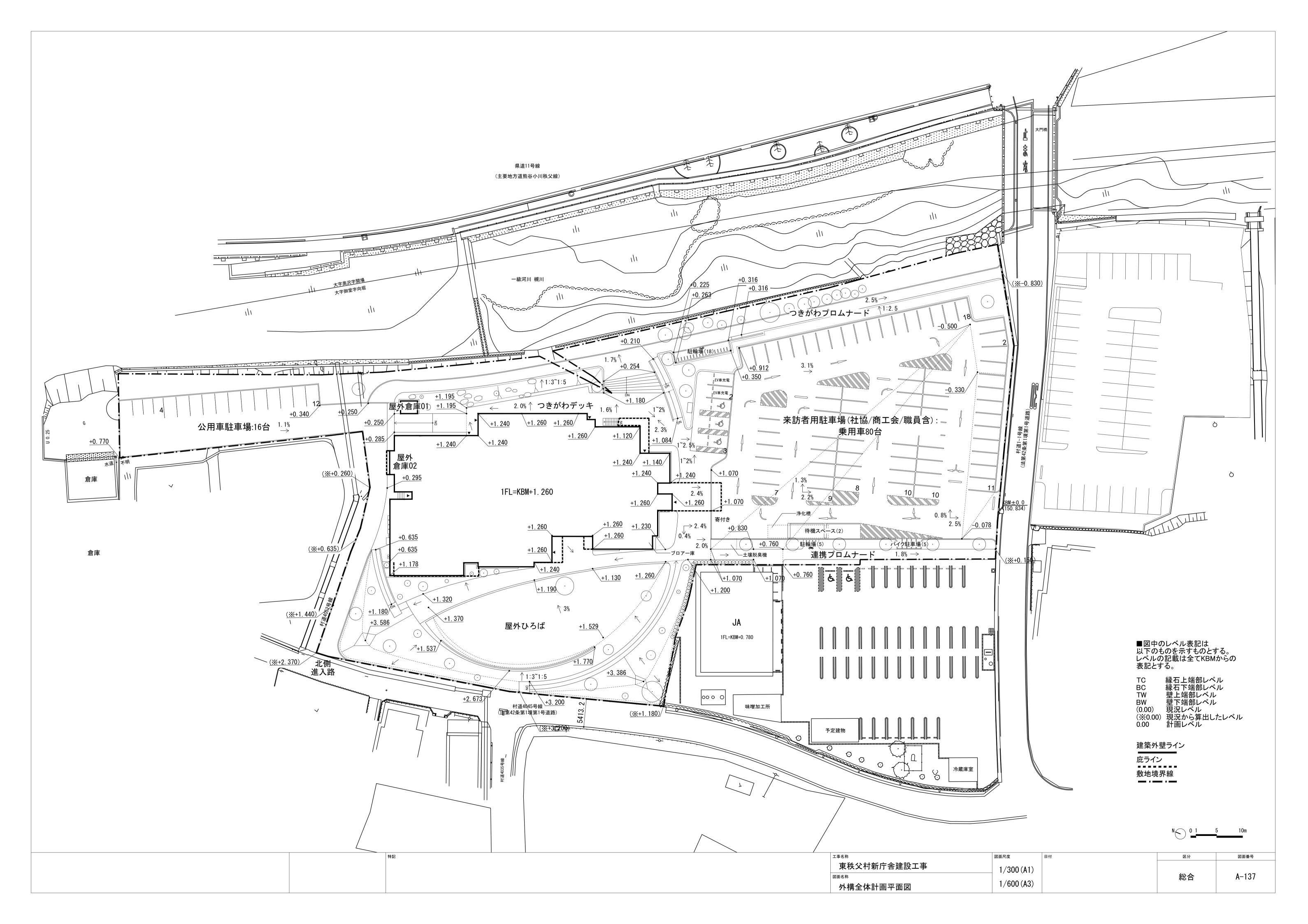
※要外部照明



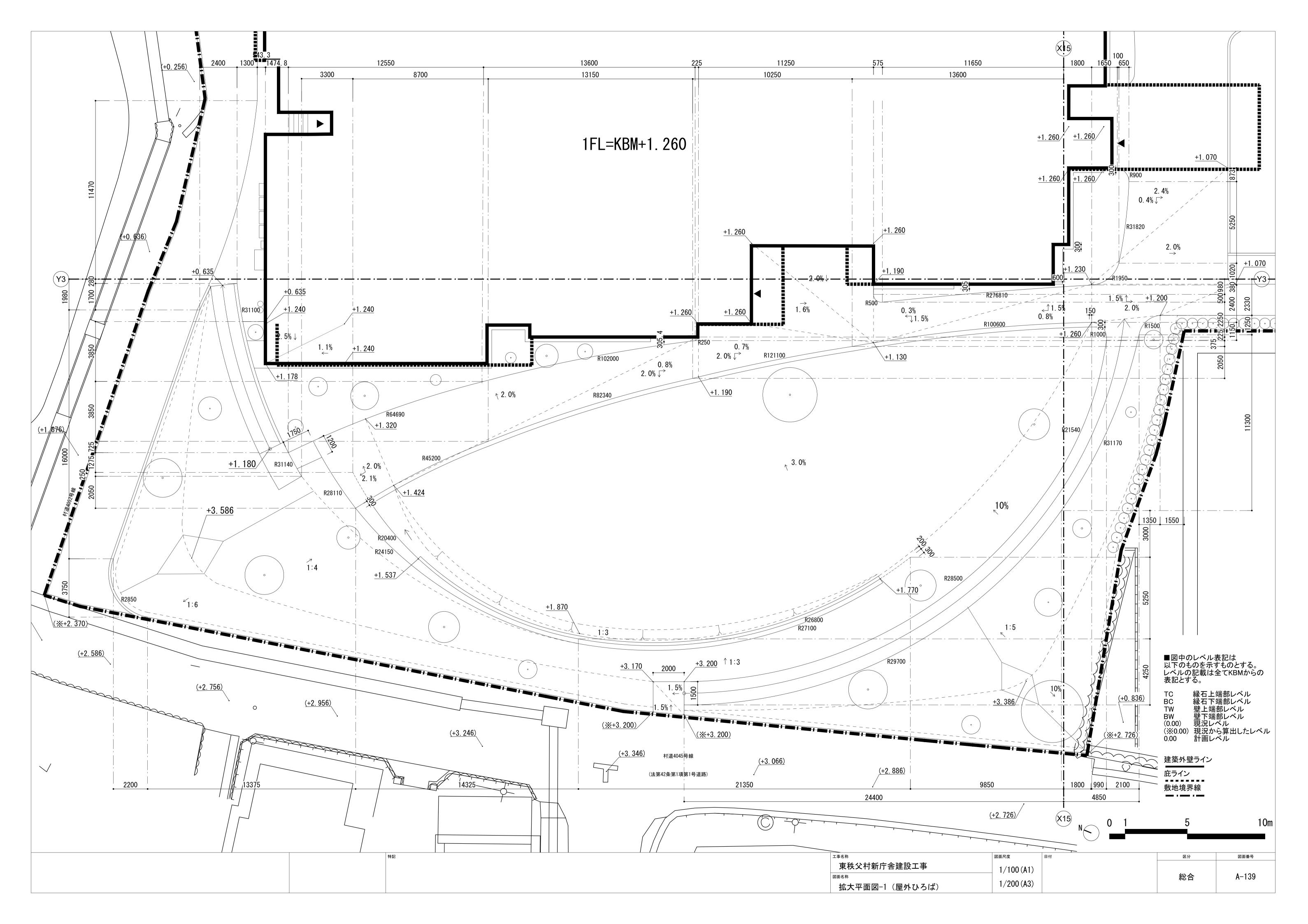
【参考(別途工事)】

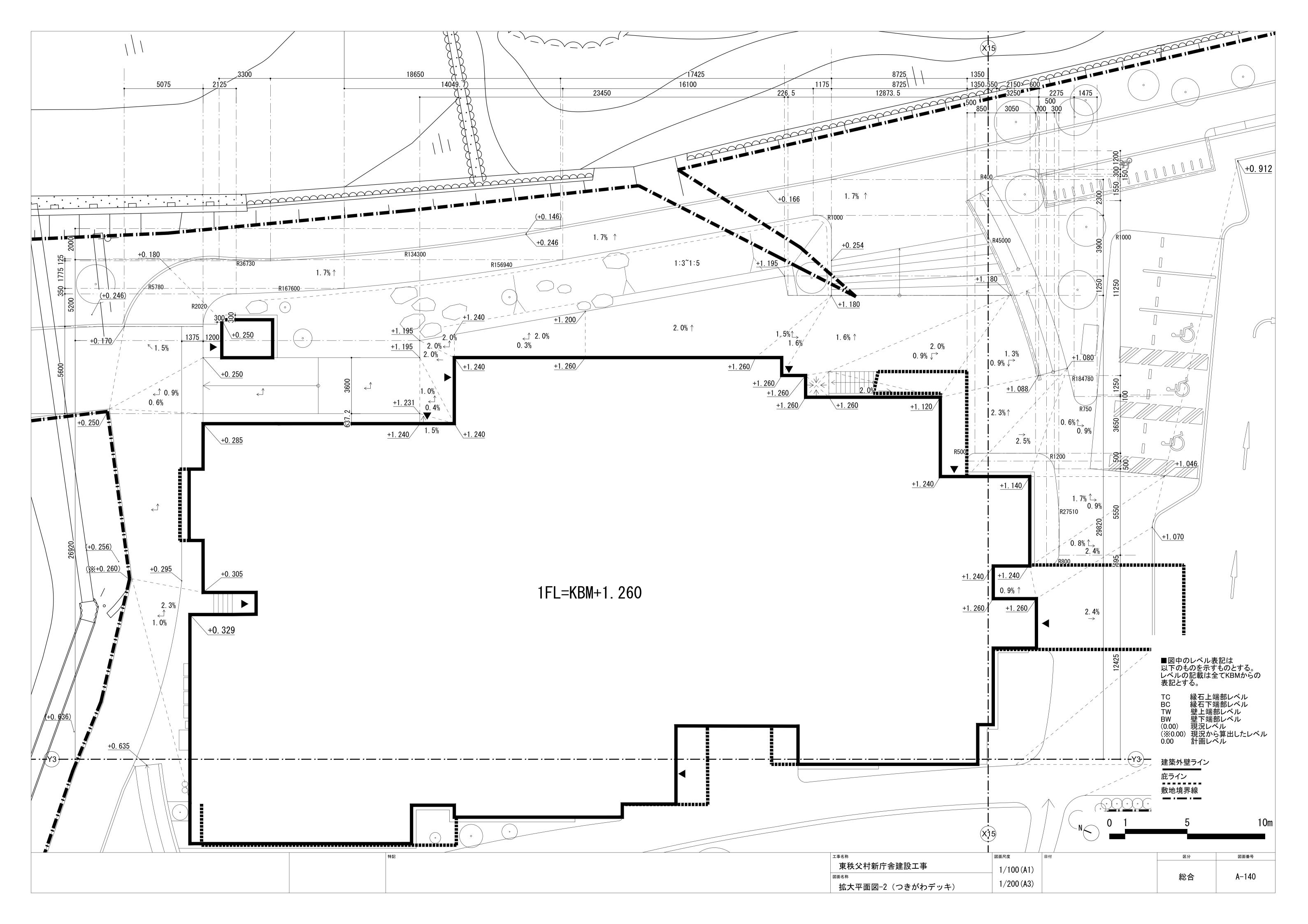
工事名称	図面尺度	日付	区分	図面番号
東秩父村新庁舎建設工事 図面名称 サイン詳細図-10	1/10 (A1) 1/20 (A3)		サイン	A-135

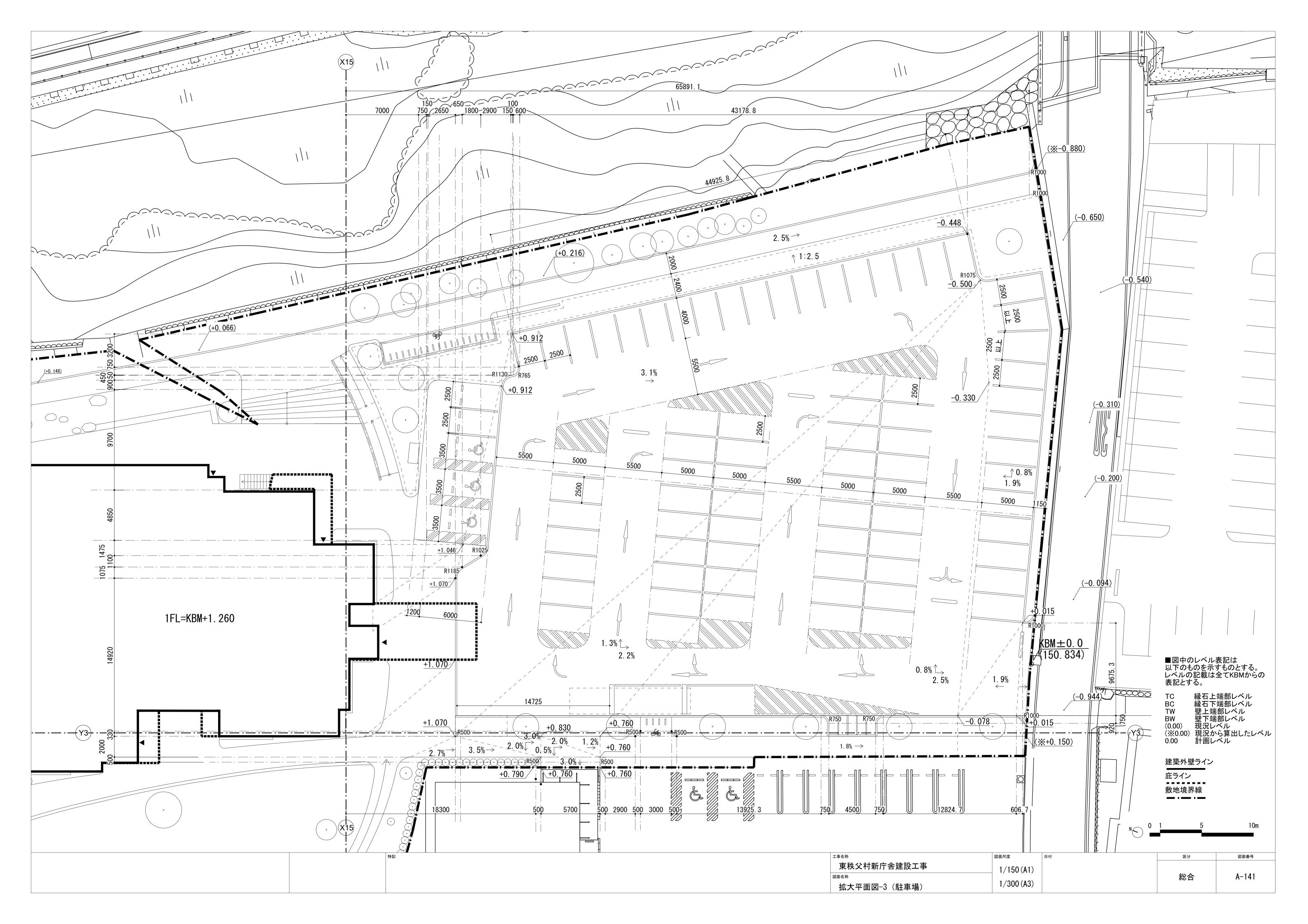


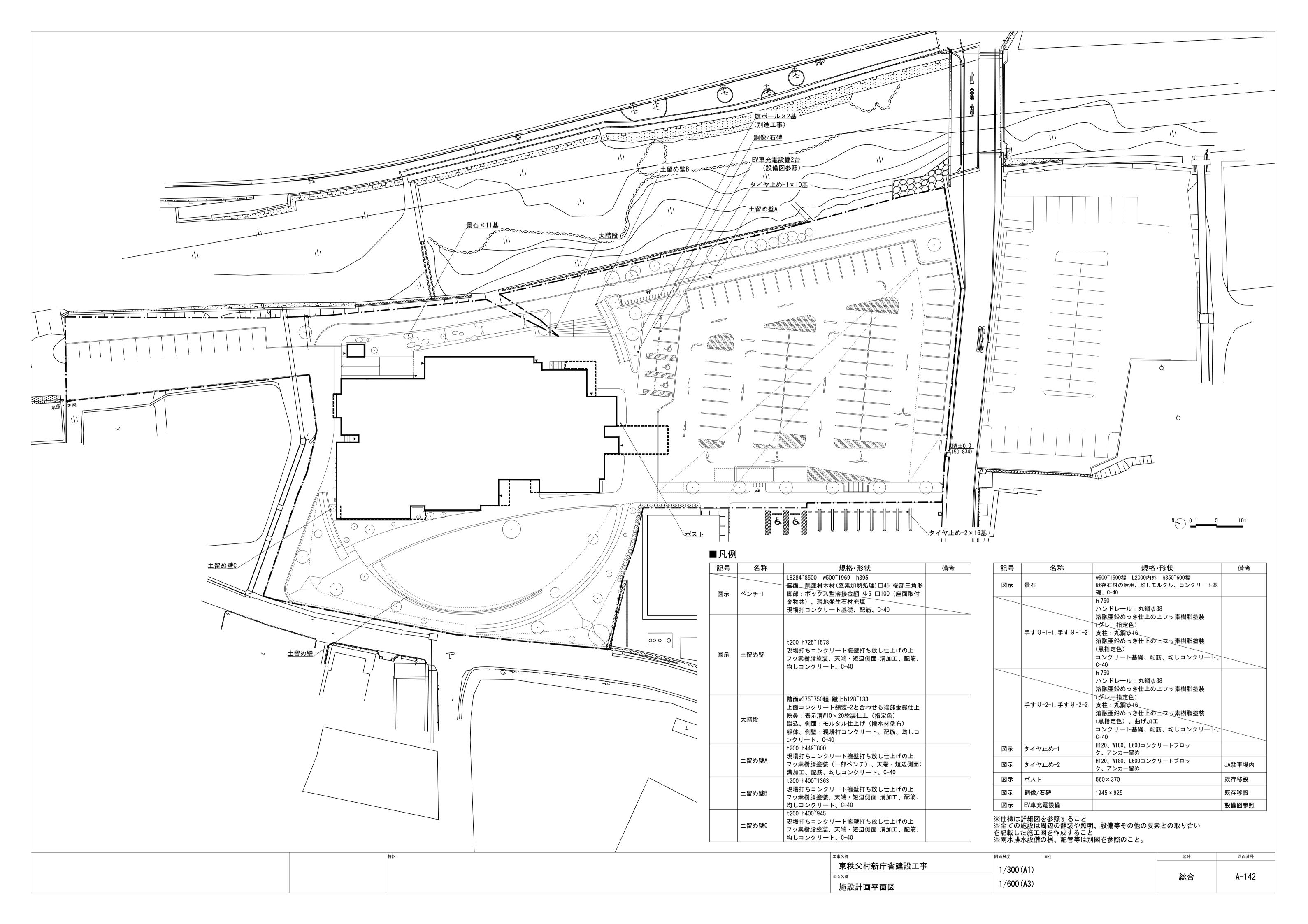


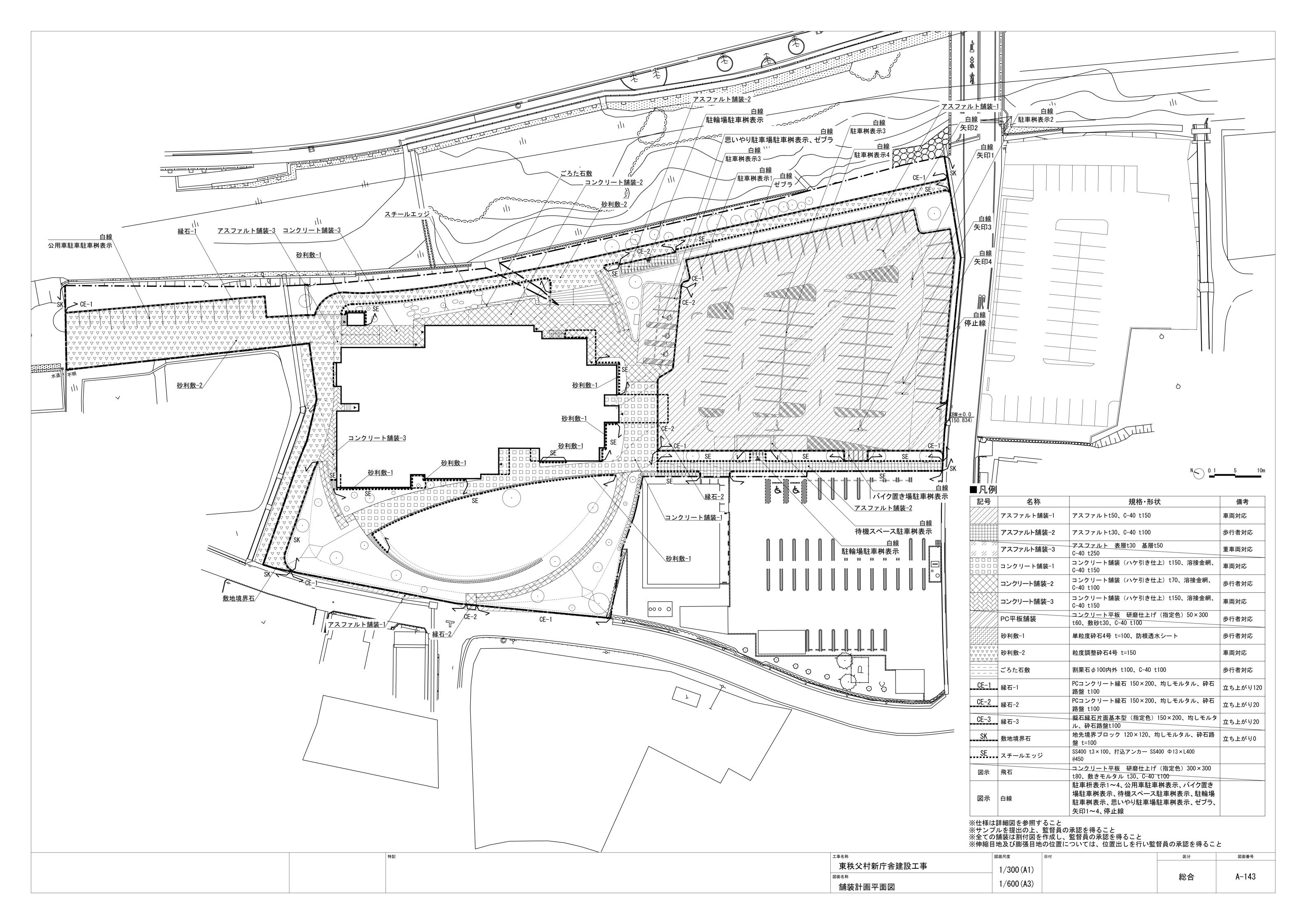


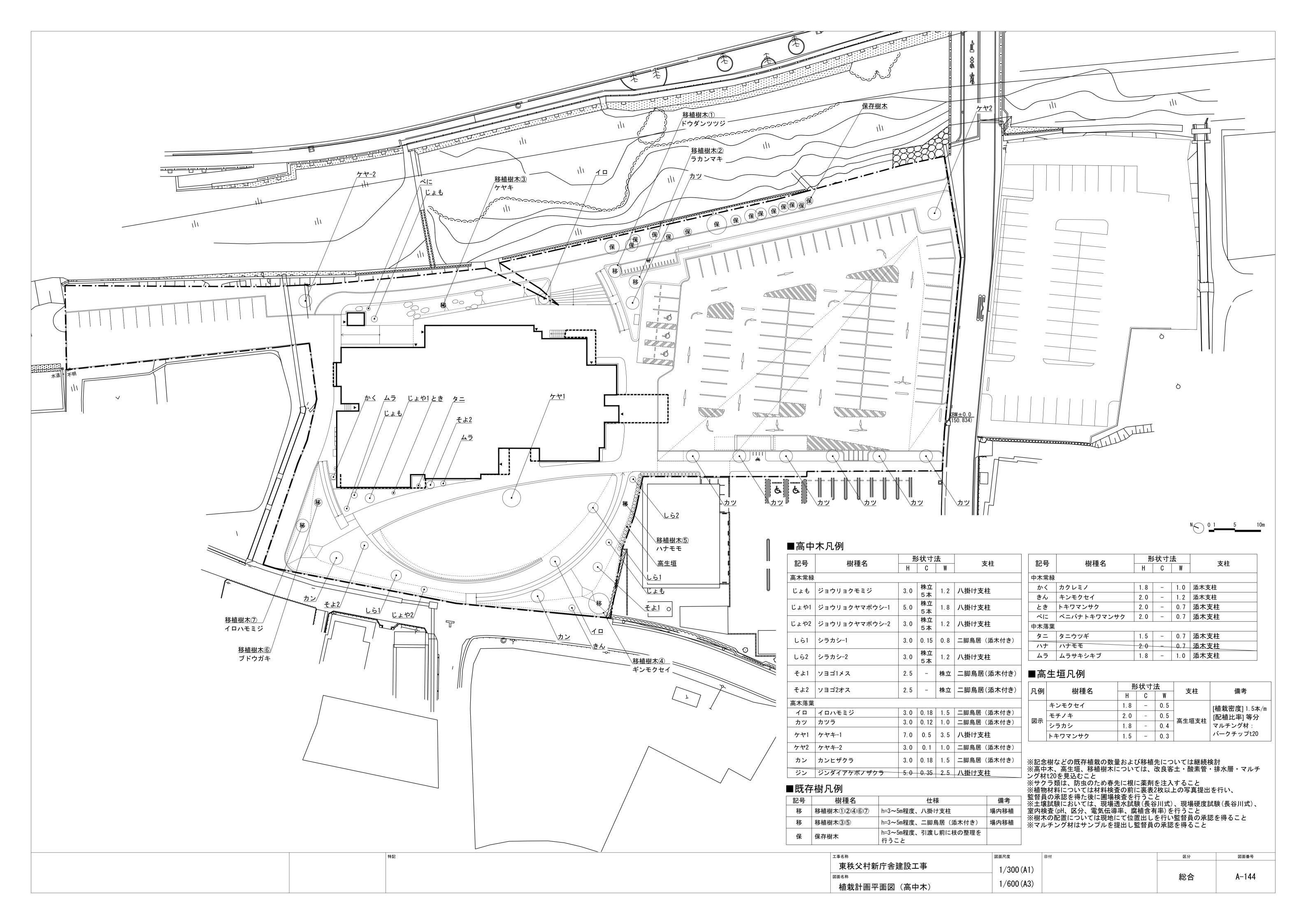


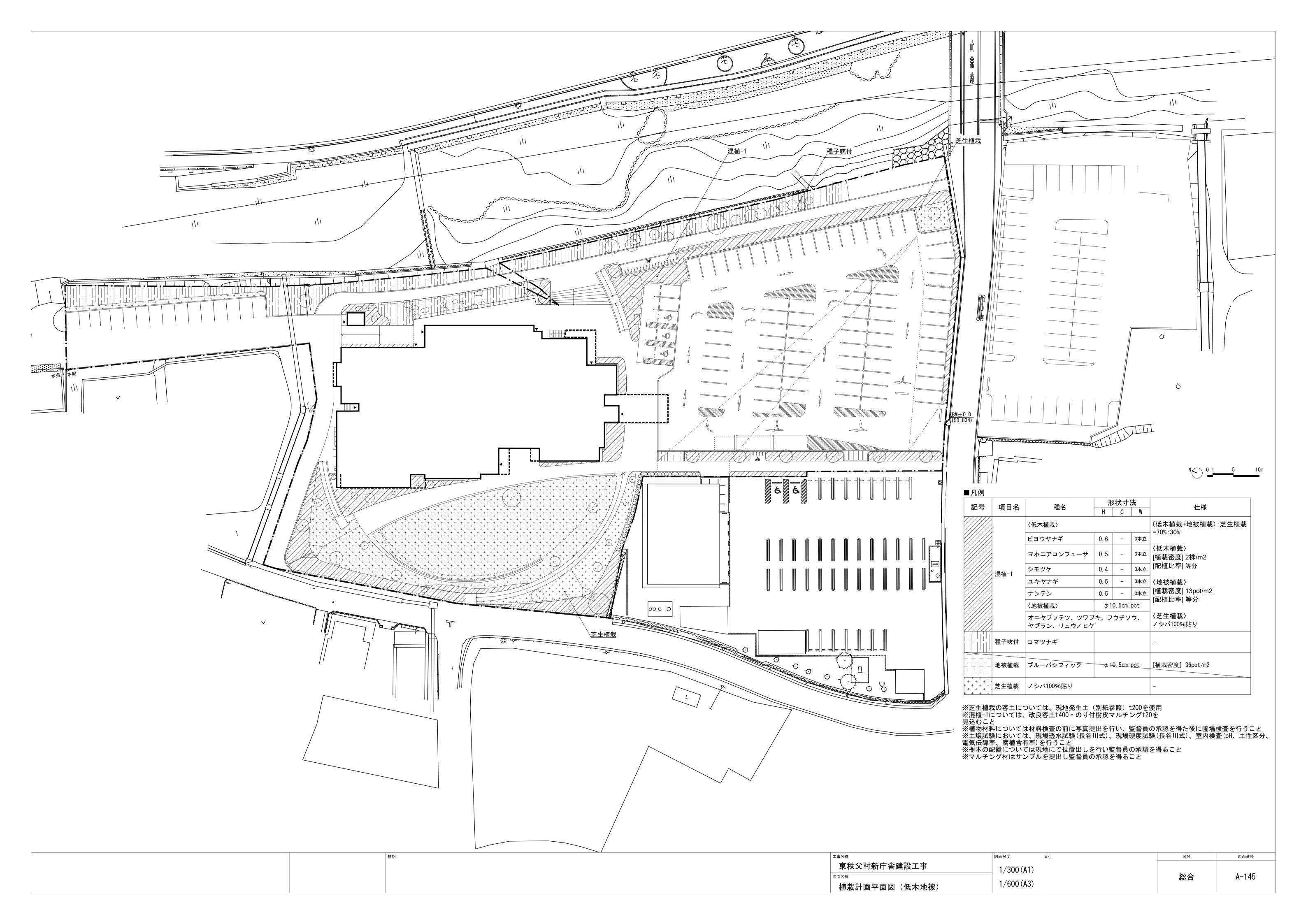


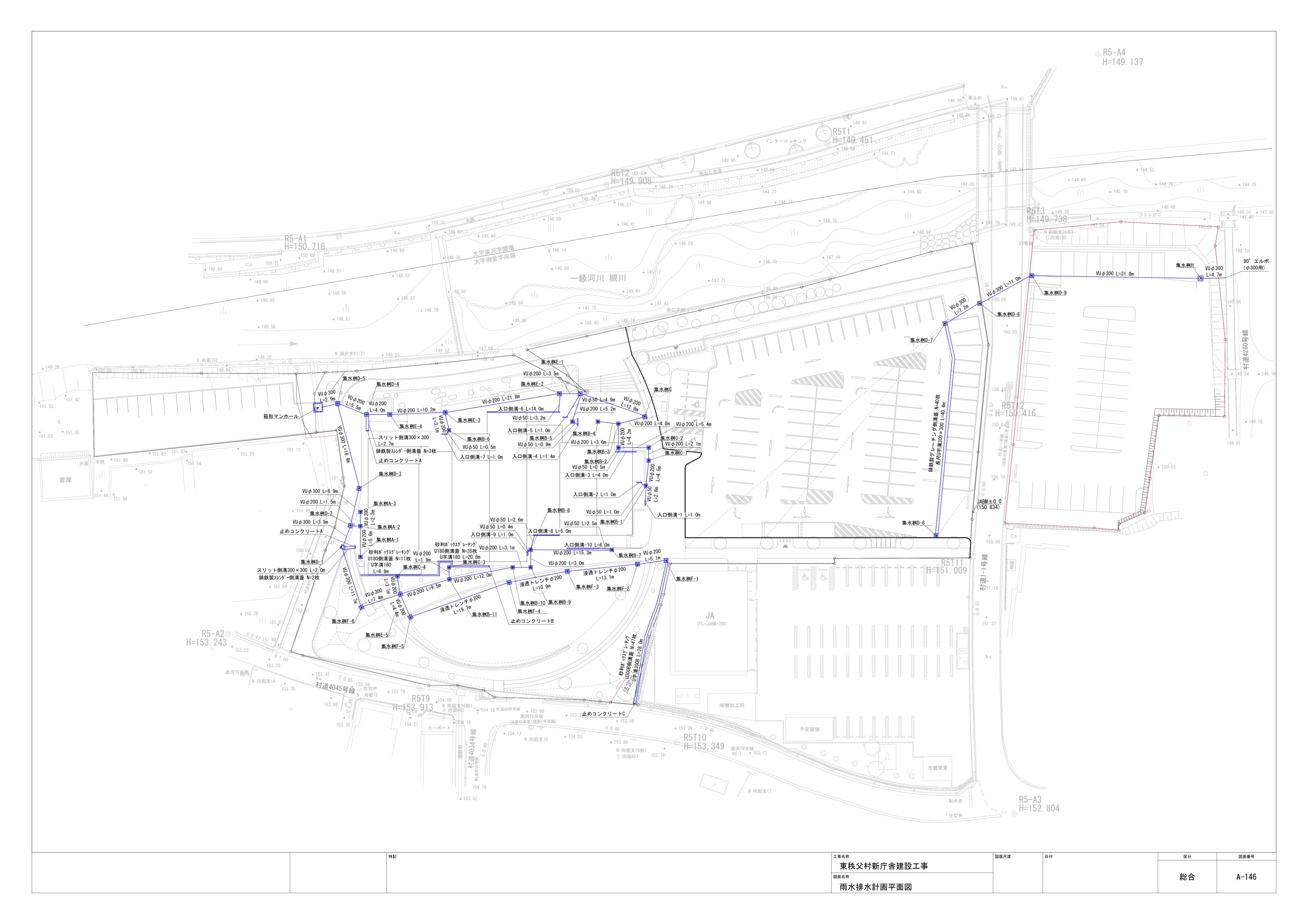


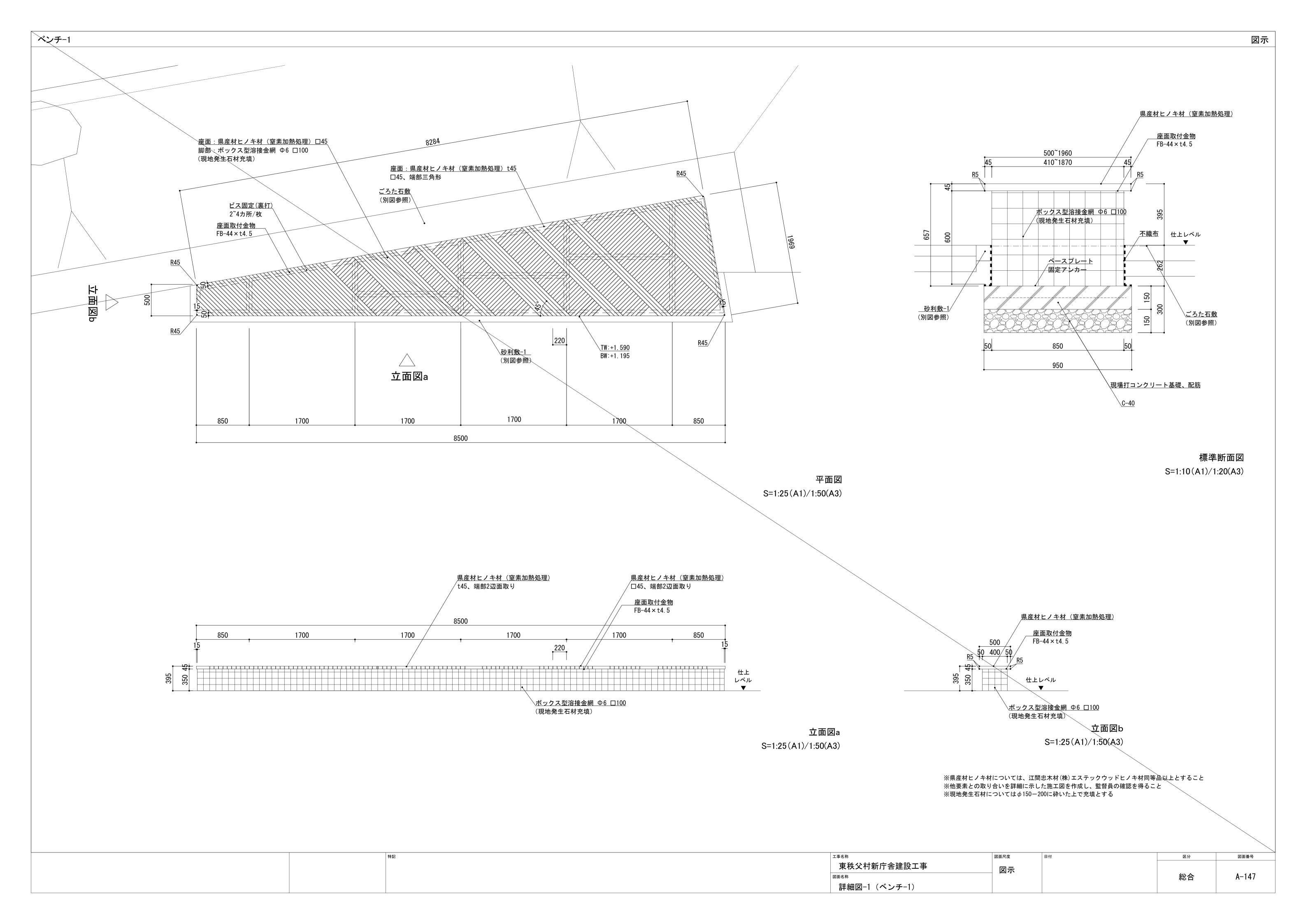


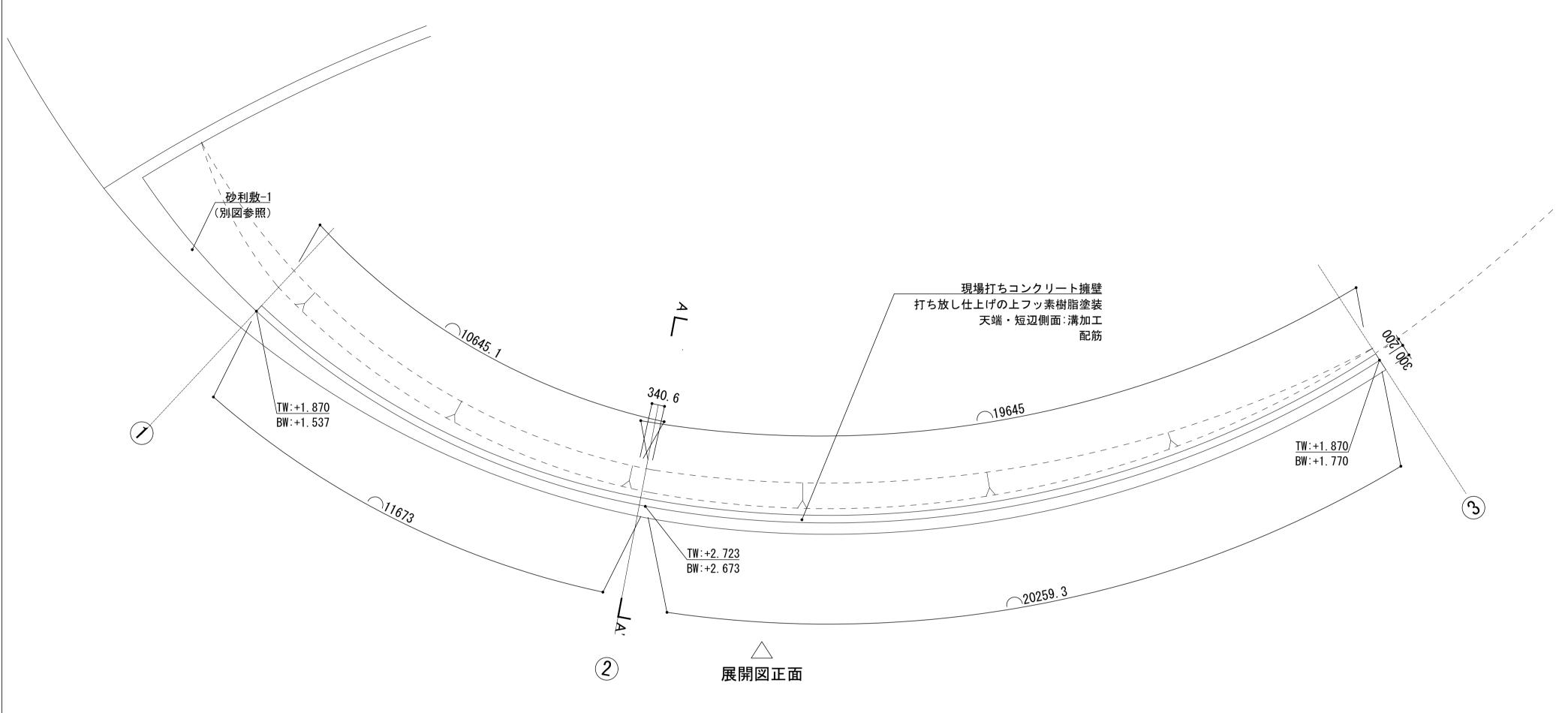


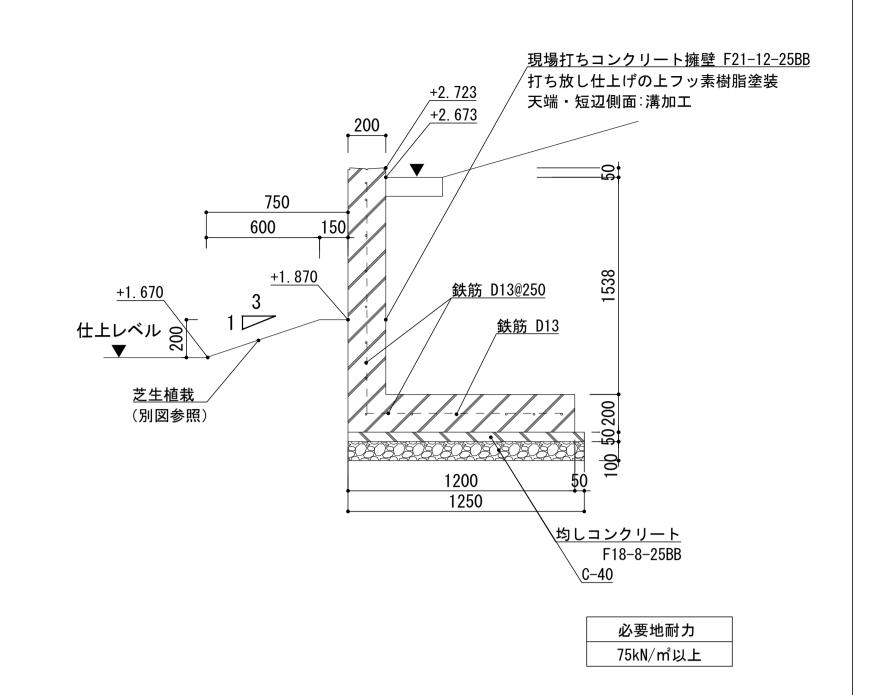






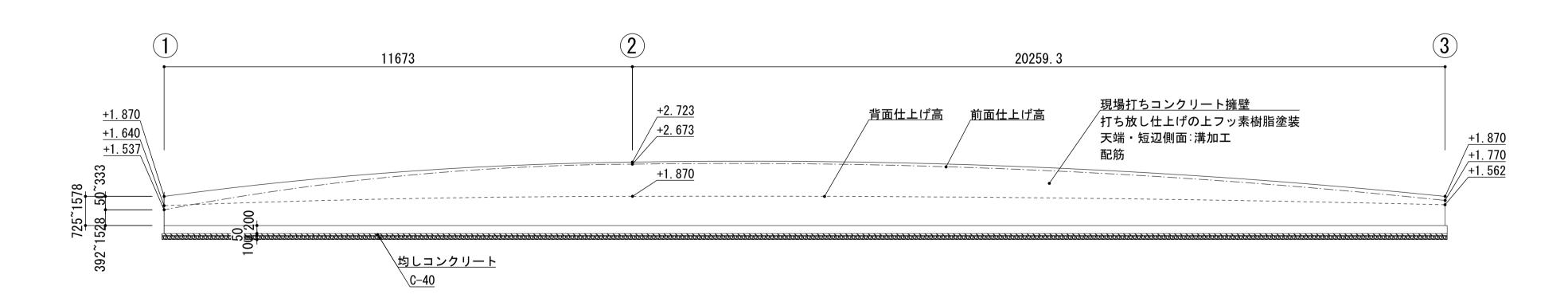


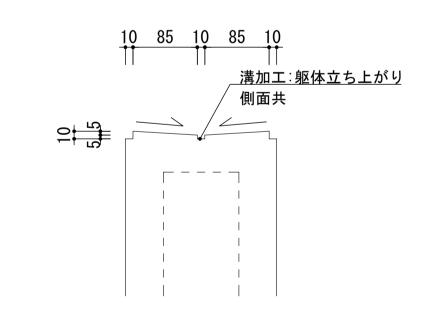




A-A'断面図 S=1:20(A1)/1:40(A3)

平面図 S=1:75(A1)/1:150(A3)



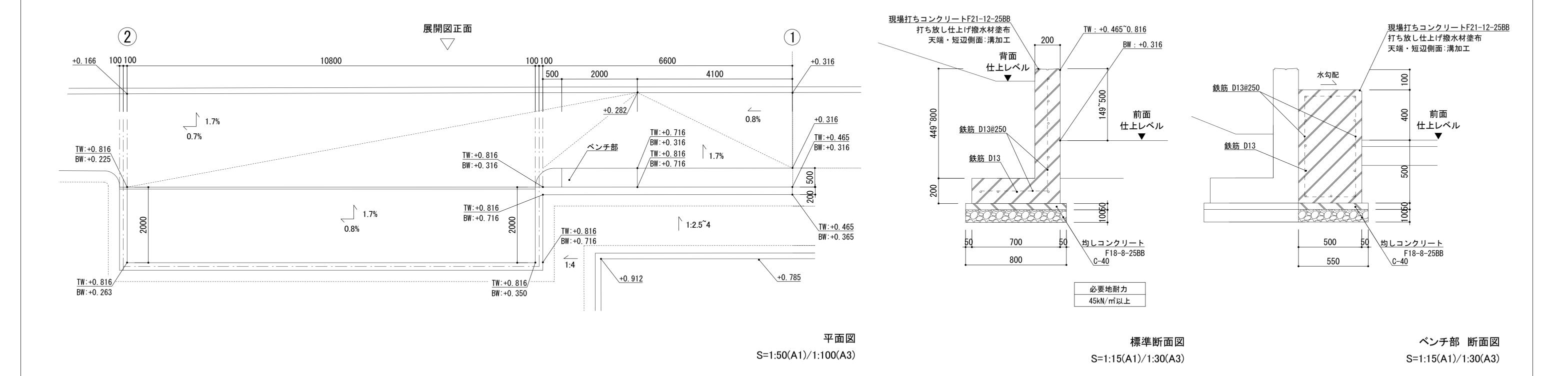


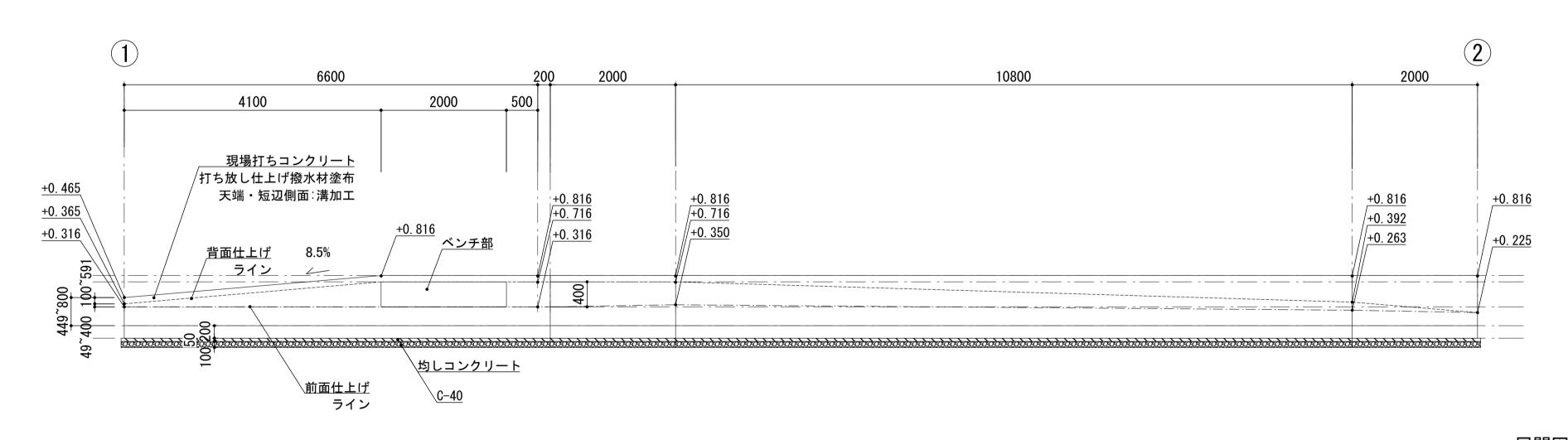
展開図 S=1:75(A1)/1:150(A3)

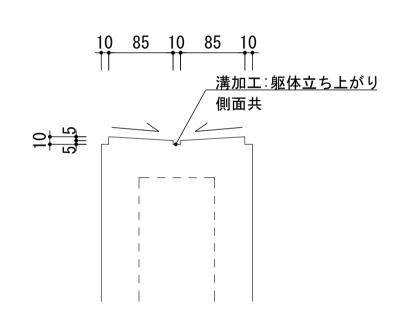
天端詳細図 S=1:5(A1)/1:10(A3)

〈土留め壁部〉 ※他要素との取り合いを詳細に示した施工図を作成し、監督員の確認を得ること ※Pコン、目地割を記載した施工図を作成し監督員の確認を得ること ※誘発目地(深さ20mm)を擁壁長さ3m毎に設置すること ※絶縁目地(深さ20mm)を擁壁長さ20m毎に設置すること ※水抜き孔(内径 φ 75)を面積3.0m2毎に1箇所設置すること ※現地地盤で現況地耐力が必要地耐力以上あることを確認の上、施工するものとする。 ※現況地耐力が必要地耐力に満たない場合は擁壁基礎を検討するものとする。

工事名称	図面尺度	日付	区分	図面番号	
東秩父村新庁舎建設工事	図示				
図面名称	_ •		総合	A-148	
詳細図-2 (ベンチ-2)					







天端詳細図 S=1:5(A1)/1:10(A3)

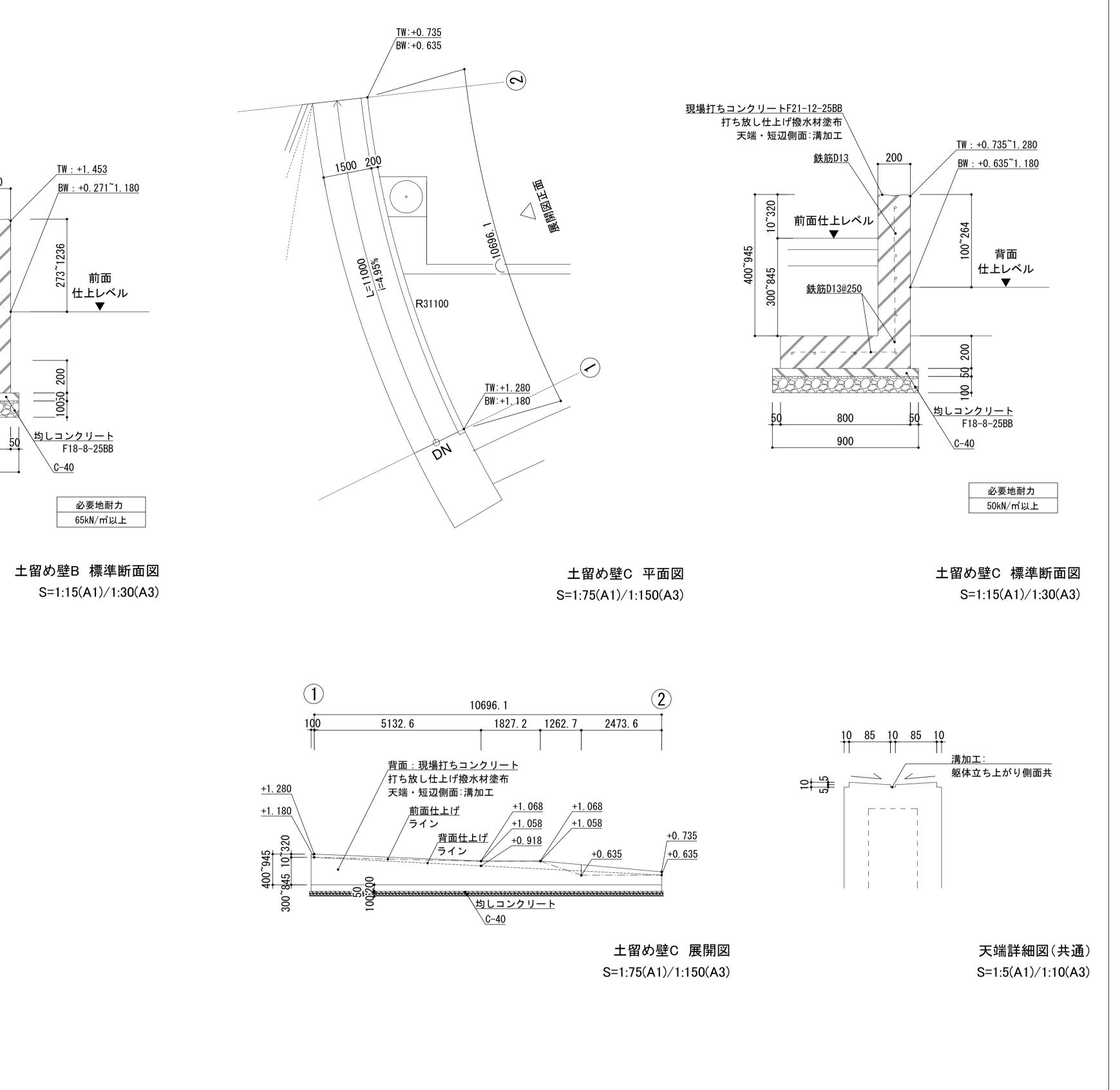
展開図 S=1:50(A1)/1:100(A3)

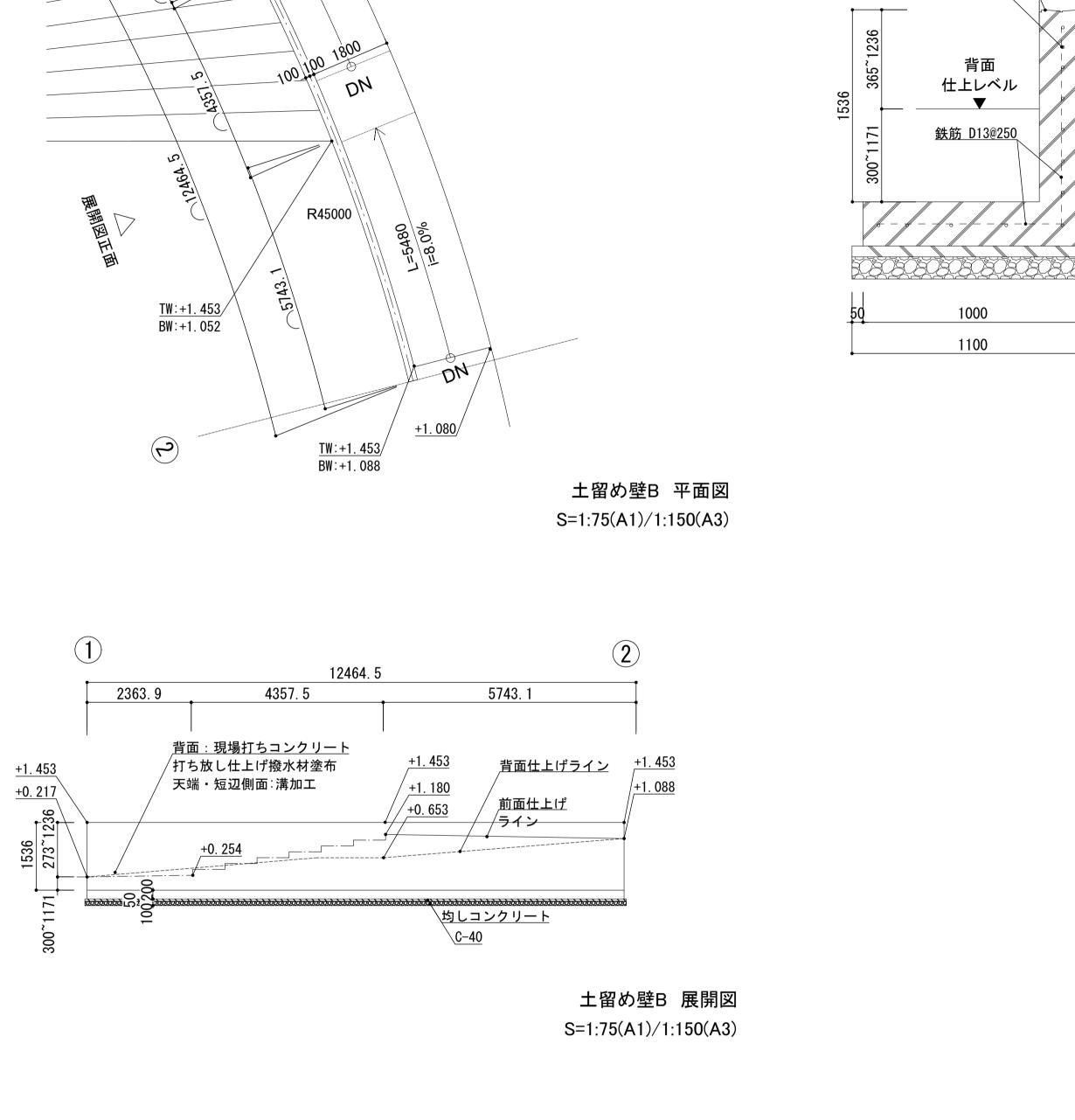
> ※他要素との取り合いを詳細に示した施工図を作成し、監督員の確認を得ること ※誘発目地(深さ20mm)を擁壁長さ3m毎に設置すること ※絶縁目地(深さ20mm)を擁壁長さ20m毎に設置すること ※現地地盤で現況地耐力が必要地耐力以上あることを確認の上、施工するものとする。 ※現況地耐力が必要地耐力に満たない場合は擁壁基礎を検討するものとする。

工事名称	図面尺度	日付	区分	図面番号	
東秩父村新庁舎建設工事					
図面名称	図示		総合	A-150	
詳細図-4 (土留め壁A)					

TW:+1. 453 BW:+0. 217

TW:+0. 387 BW:+0. 254





<u>現場打ちコンクリートF21-12-25BB</u>

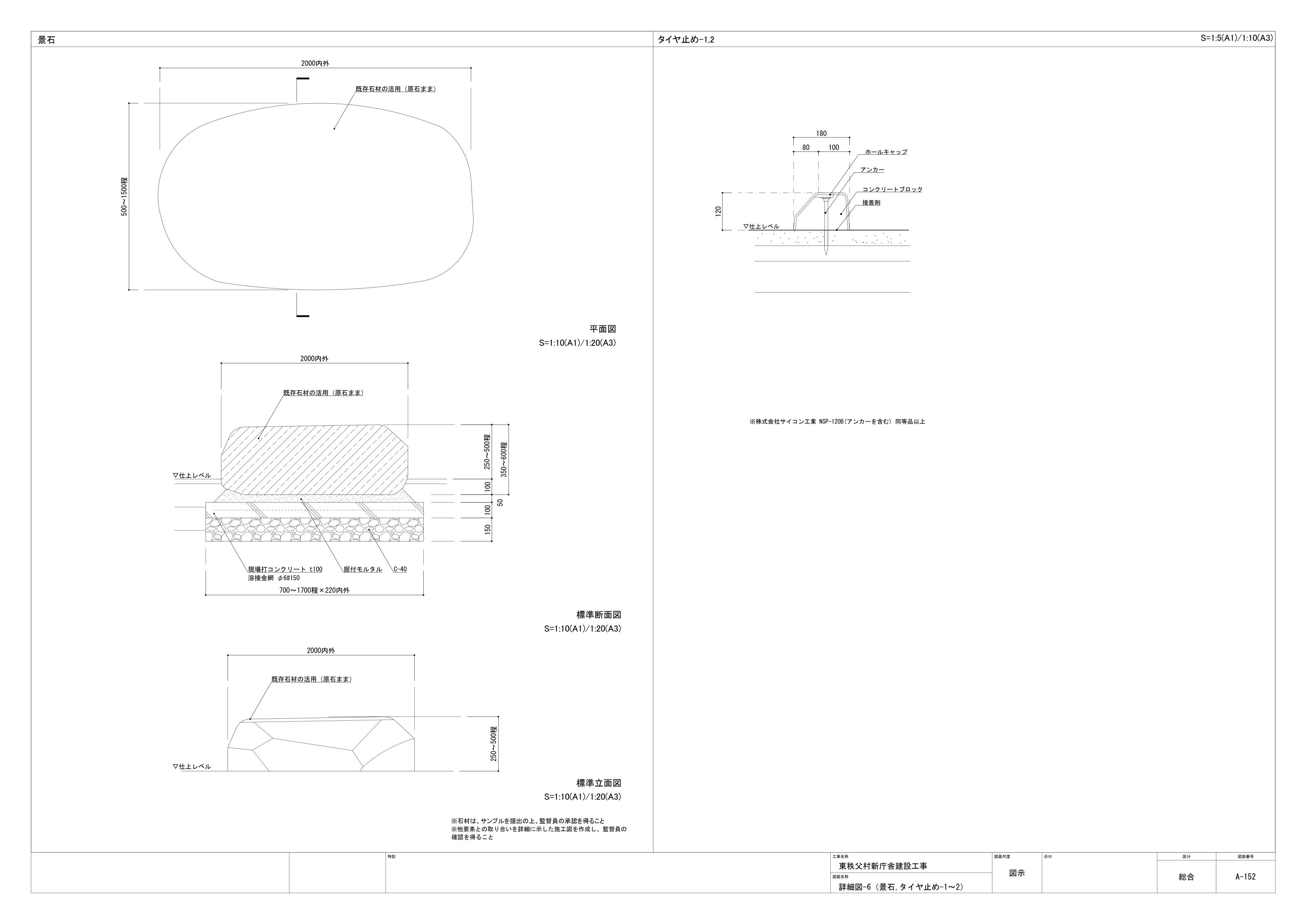
打ち放し仕上げ撥水材塗布

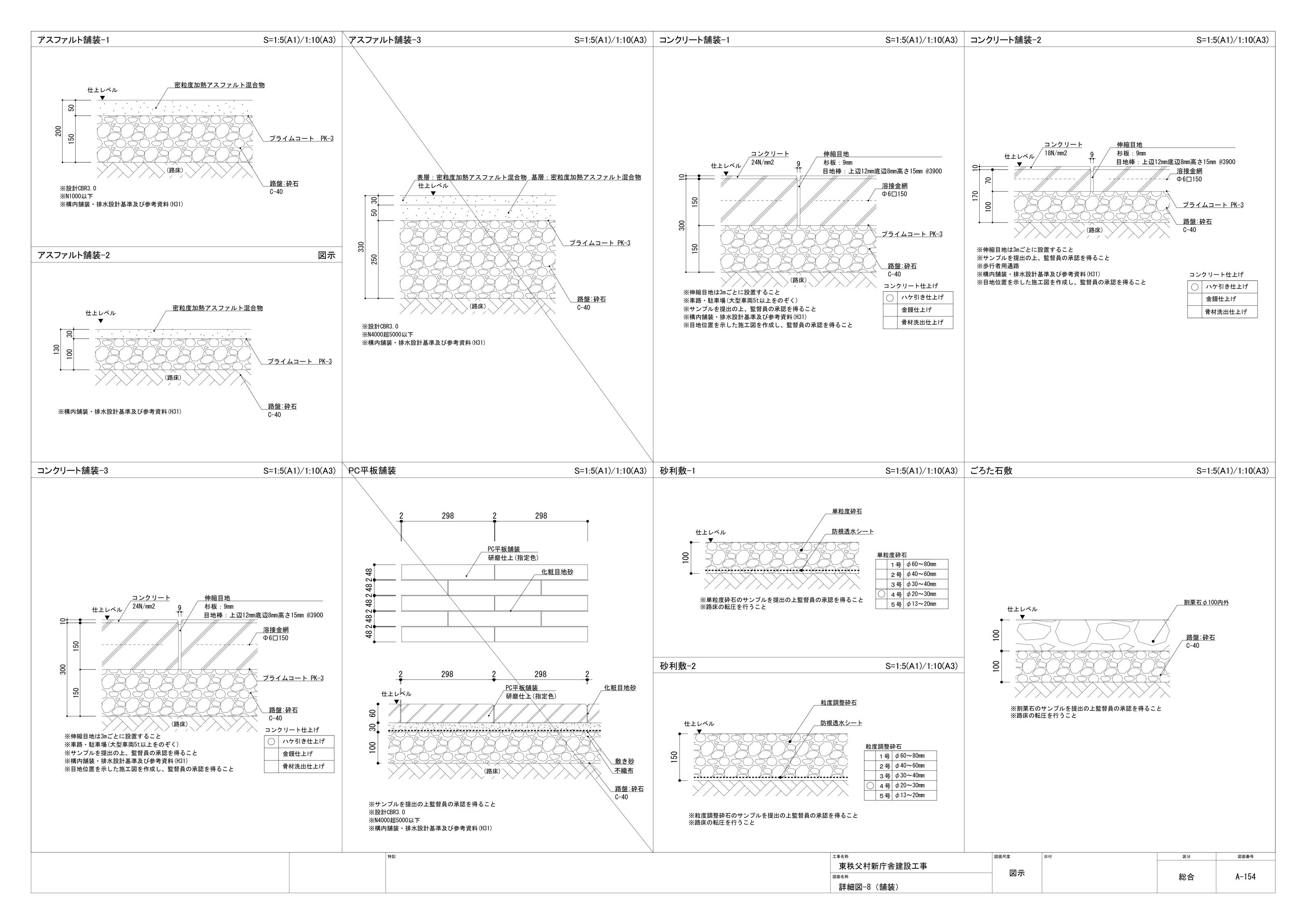
天端・短辺側面:溝加工

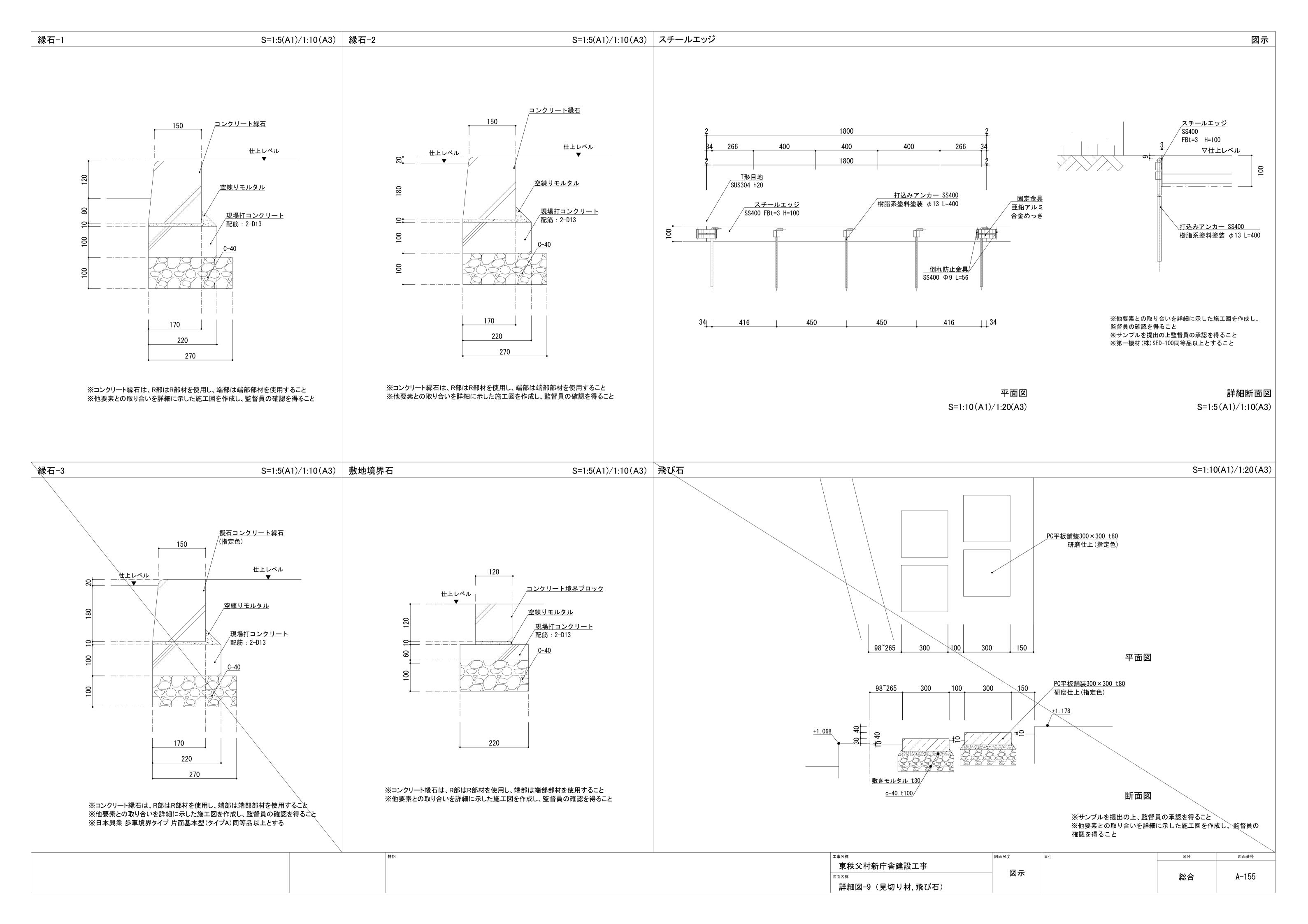
<u>鉄筋 D13</u>

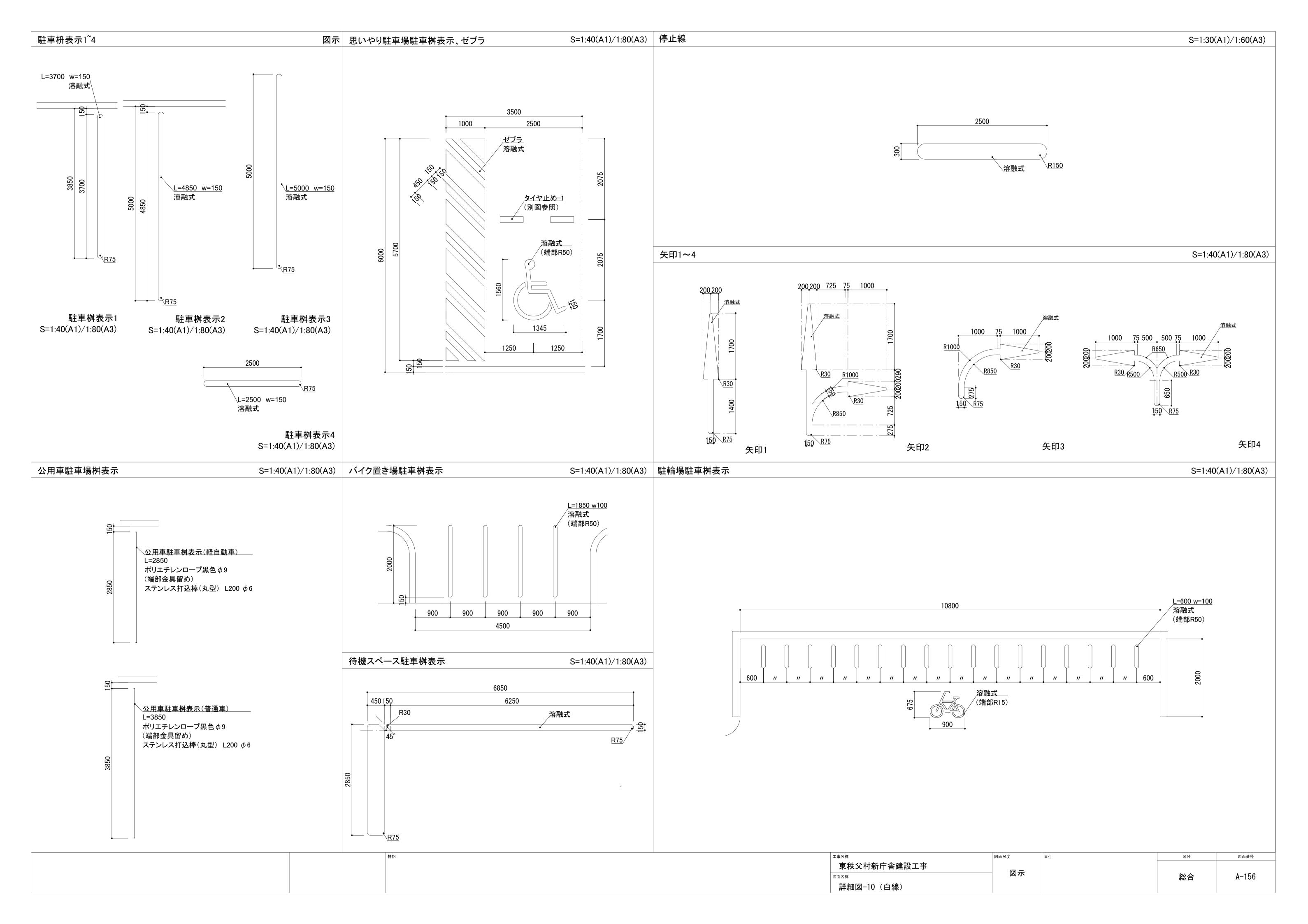
※他要素との取り合いを詳細に示した施工図を作成し、監督員の確認を得ること ※誘発目地(深さ20mm)を擁壁長さ3m毎に設置すること ※絶縁目地(深さ20mm)を擁壁長さ20m毎に設置すること ※現地地盤で現況地耐力が必要地耐力以上あることを確認の上、施工するものとする。 ※現況地耐力が必要地耐力に満たない場合は擁壁基礎を検討するものとする。

工事名称	図面尺度	日付	区分	図面番号	
東秩父村新庁舎建設工事					
図面名称	図示		総合	A-151	
詳細図-5 (土留め壁B, C)					

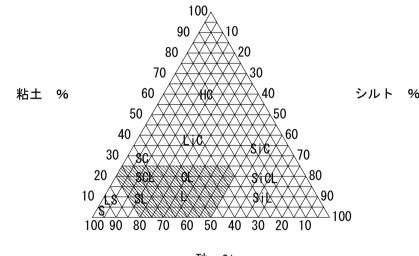








S=1:25(A1)/S=1:50(A3) | 木杭地下支持支柱 植栽特記事項 S=1:20 (A1) / S=1:40 (A3)S=1:25 (A1) / S=1:50 (A3)八掛け支柱 高木 中木・低木 <u>杉丸太</u> 01 一般共通事項 ∕Ф60 <u> 杉皮・しゅろなわ掛け結束</u> L=1800 <u>, 釘打ち鉄線掛け又はボルト締め</u> ◎本特記事項は、各共通仕様書及び補足事項に記載なき事項を特記するものであり、各工事において、 他の工事と関連ある事項は、各々該当工事の記載事項を参照する。 2. 材料試験 ◎本工事に使用する材料のうち、監督職員より指示のあるものに関しては、その成績表または成分表を提出し、 <u>根鉢 酸素管Φ150mm</u> 又は監督職員の認める試験場で試験を行い、確認を受けること。 ′(キャップ付き) 仕上レベル 仕上レベル 土壌改良材:硬質流紋岩発砲物 土壤改良材:硬質流紋岩発泡物 02 客土工事 (15%)混合 -(15%)混合 鉢容量V' 高有機土壌活力肥料 高有機土壌活力肥料(10%)混合 1. 客土材(地上部) / 焼杉丸太 (10%)混合 鉢容量V' ◎植栽の客土材については、購入土(黒土または畑土)とする。ただし、芝生植栽については表土保全の土を使用する。 φ60面取り ◎購入土の品質基準については、下表に示す基準値以内のものとし、搬入前に各表中項目の数値を記載した 報告書を成分表と合わせて提出し、監督職員の承諾を得ること、 ₹黒曜石パーライトΦ4~25mm 黒曜石パーライトΦ4~25mm また、各数値については下表に示す試験方法もしくは同等と認められる方法で測定すること。 ◎雑草の種子等、不純物の混入のないものとすること。 ◎工期内に発生した雑草については全て除草を行うこと。 客土改良材混合比率(施肥量は1本当たり) φ150 樹木形状寸法 鉢容量 植穴径 植穴深 植穴容量 排水層厚 排水層容量 客土量 ※2 残土量 ※3 80 20 ⁄ 又はボルト締め 本数長さ (植穴容量- 鉢容量- 排水層容量) 70 30 丸太(末口45~60) m3 60 40 仕上レベル シルト % 0.560 15以上 20未満 0.990 0.630 20以上 25未満 50 \(\times 50 0.747 0.480 25以上 30未満 1.110 0.690 30以上 35未満 0.499



黒	土				
	項目	基準値	試験方法		
1	1 粒径組成 三角図表表示内		JIS A 1204 (土の粒度試験方法) 及で 国際土壌学会法(土性三角表に表示)		
2	飽和透水係数	10 ⁻⁴ cm/sec以上	定水位法又は変水位法		
3	有効水分保持量 pF 1.8~3.0	801/m ³ 以上	吸引法及び遠心法		
4	pH (H ₂ 0)	5 ~ 7	ガラス電極法		
5	腐植含有量	5%以上	チューリン法又はCNコーダー法		
6	全窒素含有量	0.18%以上	ケルダール法又はCNコーダー法		
7	塩基交換容量	15me/100g以上	セミミクロ・ショレンベルジャー法		

2. 床掘りの残土 ◎本工事に伴う床掘り残土については、当敷地内にて処分するものとする。

03. 植栽工

1. 一般事項

◎各樹木・低木は監督職員の検査を受け、指定されたものを使用する。また、地被類は、枯葉等を取り除き、 発育が盛んで乾燥していないものとする。

◎かし(枯補償):引き渡し後1年以内に枯死、枝条枯死、樹形不良等となった場合は、 植栽した材料と同等またはそれ以上のものを請負者の負担において植え替える。 但し、天災やその他のやむを得ない理由による場合は、協議の上処理方法を決定する。

◎現場透水試験(長谷川式):植栽地内で試験孔を空け、水で飽和された状態における土壌の透水性の良否の 試験を行う。試験は直径15cm程度の孔をあけ、水の深さが10cmまで注入。20分置き浸透後、 再度水深10cmになるまで注水し20分後と40分後の水位を測定する。減水速度30mm/hr以上のものを合格とする。 水位が下がらなかった場合は、監督職員と協議の上対応を検討すること。(試験箇所3ヶ所)

◎現場硬度試験(長谷川式):植栽地内で孔を掘らずにコーンを打ち込んで土壌硬度を測定する。 測定地点に水平に立てポール支持プレートを固定、初期値の目盛を読みランマーをガイドリングが当たるまで 持ち上げ自然落下させる。一打ごとの貫入深さを目盛で読み記録する。 貫入ロッド全体が貫入するか0.2cm以下が10打以上連続したら測定を終了。 (極端に硬い岩やコンクリートに当たったらその近くで再度試験を行う) S値 (cm/drop) が1.5~4.0を合格とする。

2. 土壌改良

◎図示の通り。 ◎植栽用土 : 購入土を使用し、改良材の資料・配合の成分表も同時に提出を行うこと。

◎列植の高木については単幹とし、同一圃場にて生産された樹形の揃ったものとすること。 ◎マルチング材は繊維状(1~8cm)の広葉樹の糊剤入りのものとする。

S値が充分でない場合は監督職員と協議の上対応を検討すること。(試験箇所3ヶ所)

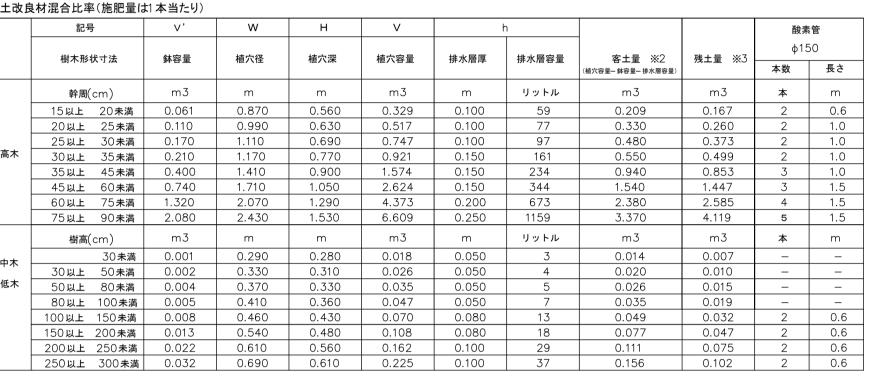
使用材料についてはサンプルを提出し、現場監督職員の承諾を得ること。 ◎高木中木については、材料検査の前に表裏2面以上の写真提出を行い、監督職員の承諾を得ること。

4. 潅水

◎水ばちは設けず、必要な場合は監督職員と協議の上対応を検討すること。

5. 張芝植栽

◎除草:適宜行い、ターフ形成を妨げないように注意する。

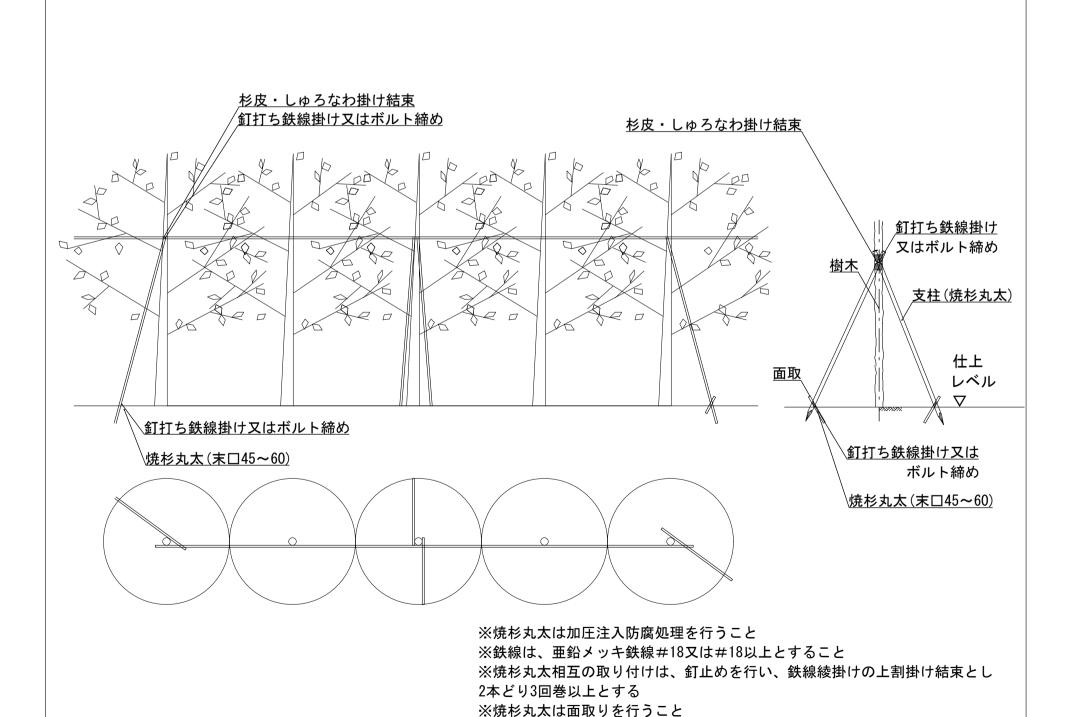


※客土量の歩留まりを考慮し1.1倍とする ※残土量=改良材+(鉢容量×1.1)+(排水層×1.1) ※現状の表土保全を行うか否かは現場監督員と協議を行うこと ※透水性に優れないことが現場で確認できた場合は、監督員と協議の上、透水管Φ75を設置すること <u>、丸太杭</u> L=1800

※焼杉丸太はアルキルアンモニウム化合物系防腐剤(AAC)を加圧注入し防腐処理を行うこと ※鉄線は、亜鉛メッキ鉄線#18又は#18以上とすること ※焼杉丸太相互の取り付けは、釘止めを行い、鉄線綾掛けの上割掛け結束とし2本どり3回巻以上とする ※焼杉丸太は面取りを行うこと ※樹木と支柱の結束は、しゅろ縄綾掛けとし、2本どり3回巻以上とする

※マウンド部分の八掛け支柱の設置方向は監督員の承認を得ること

高生垣支柱 S=1:75(A1)/S=1:150(A3) | 二脚鳥居(添木付き) S=1:20(A1)/S=1:40(A3) | 添木支柱 S=1:20 (A1) / S=1:40 (A3)



※樹木と支柱の結束は、しゅろ縄綾掛けとし、2本どり3回巻以上とする

<u>_杉皮・しゅろなわ掛け結束</u> 横木丸太 <u> 釘打ち鉄線掛け又はボルト締め</u> (添え木) <u>支柱丸太</u> (杉皮・しゅろなわ掛け結束) 仕上レベル

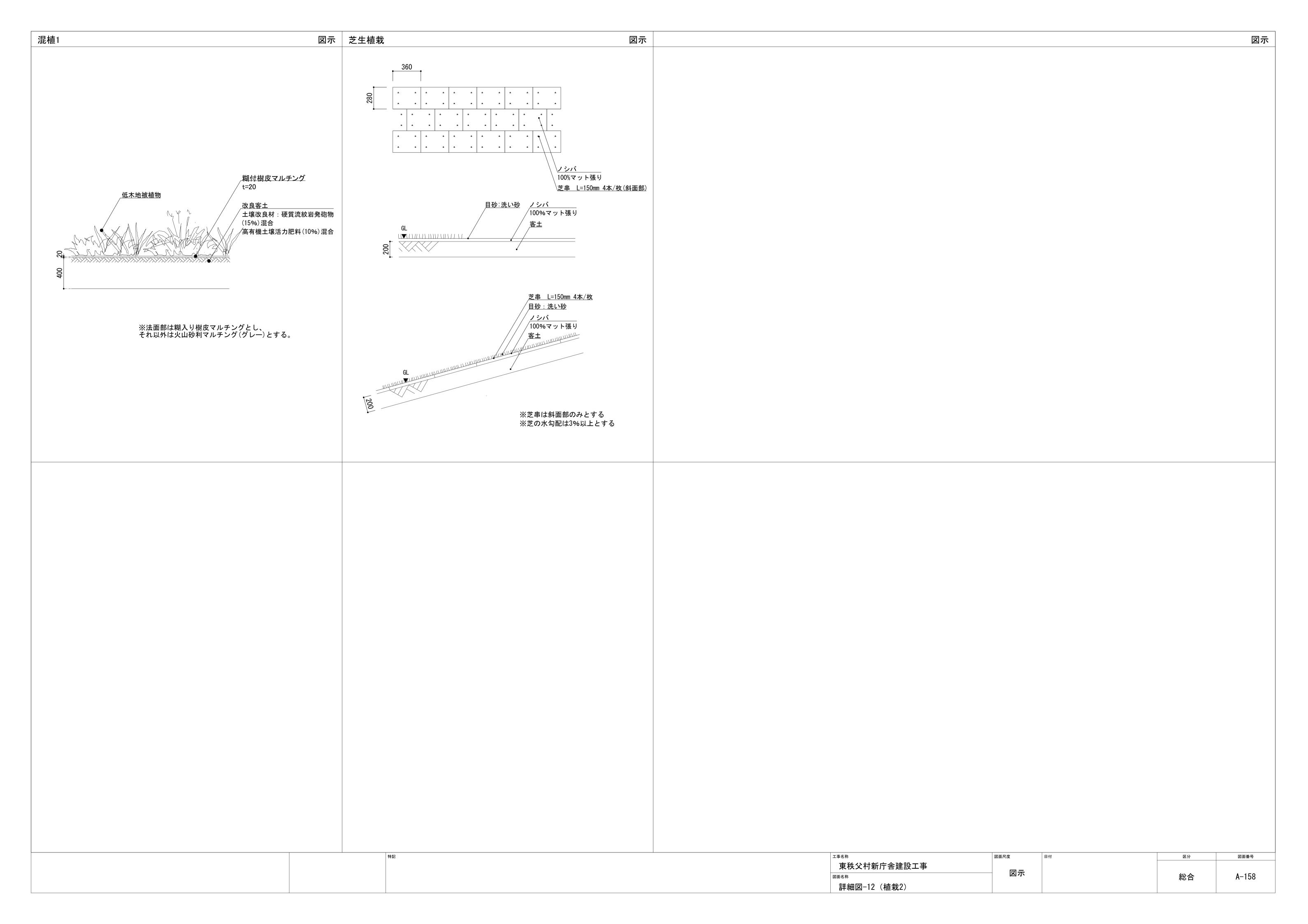
※焼杉丸太は加圧注入防腐処理を行うこと ※鉄線は、亜鉛メッキ鉄線#18又は#18以上とすること ※焼杉丸太相互の取り付けは、釘止めを行い、鉄線綾掛けの上割掛け結束とし 2本どり3回巻以上とする ※焼杉丸太は面取りを行うこと ※樹木と支柱の結束は、しゅろ縄綾掛けとし、2本どり3回巻以上とする ※幹周が10cm~20cmの場合は添え木付き ※幹周が20cm~29cmの場合は、樹木によって添え木の有無を判断する

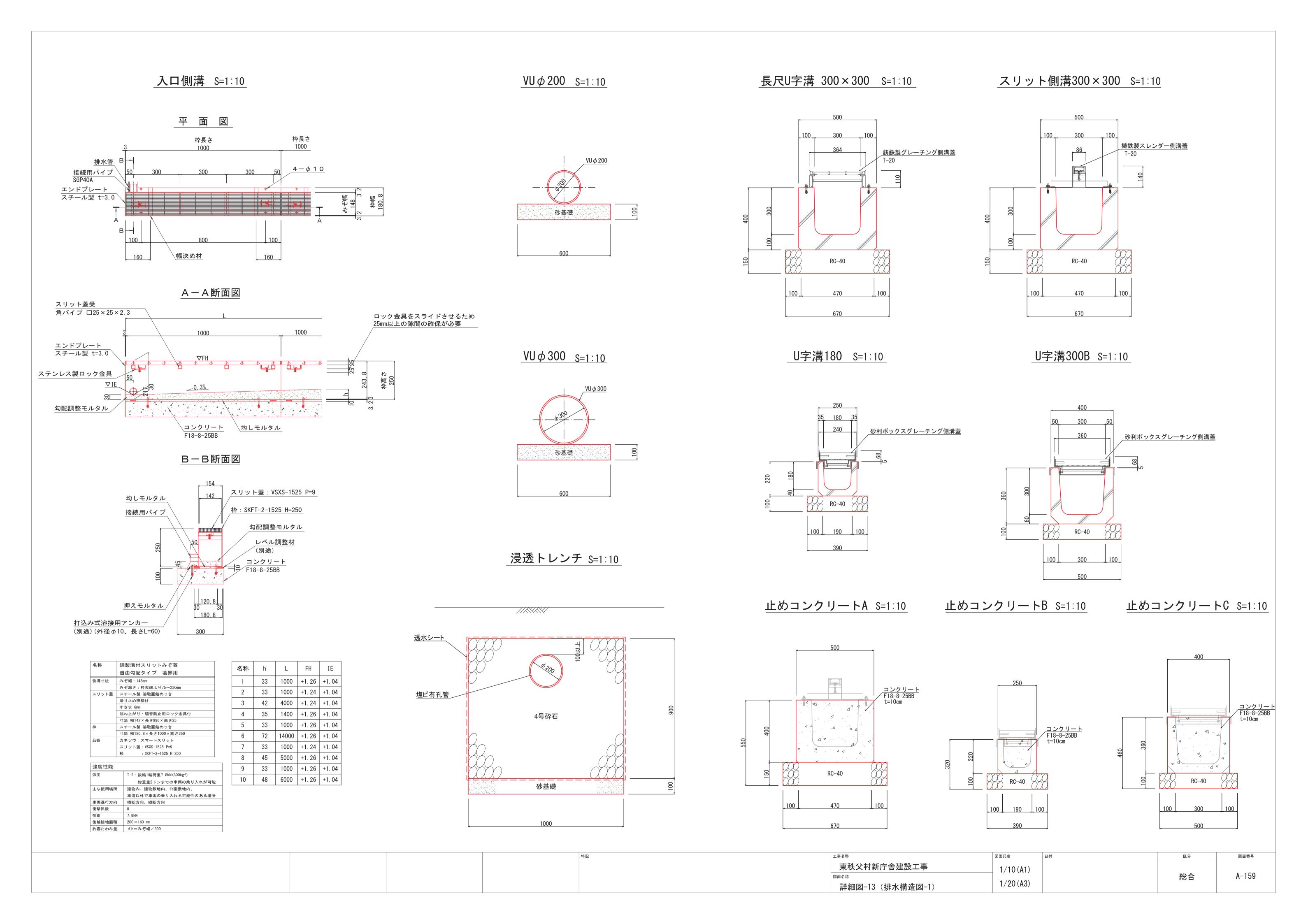
※幹周が30cm~39cmの場合は添え木なし

<u>杉皮・しゅろなわ掛け結束</u> 添え木(竹) ※添木(唐竹)は2年生以上で末口25mm内外のものとし

曲がり・腐食・病害虫・変色等のない良好な節止め品とすること

工事名称	図面尺度	日付	区分	図面番号
東秩父村新庁舎建設工事				
図面名称	図示		総合	A-157
詳細図-11 (植栽1)				

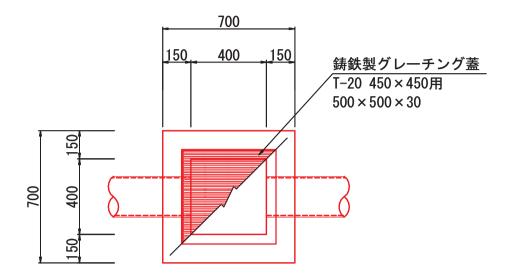




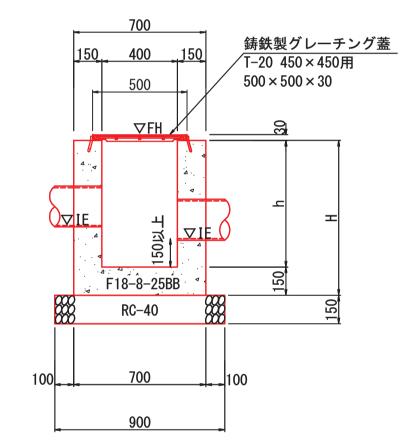
集水桝構造図-1 _{S=1:20}

集水桝A S=1:20

平 面 図



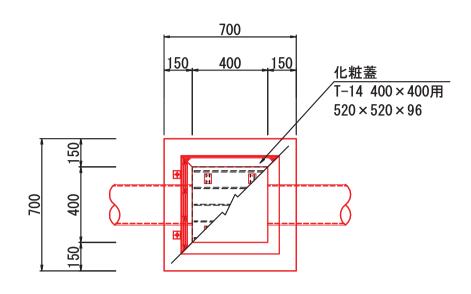
断 面 図



A-1	A-2	A-3
VU φ 200 I E 1	VU φ 200 IE2 VU φ 200 VU φ 200 IE1	VU φ 200 IE1

集水桝B S=1:20

平 面 図



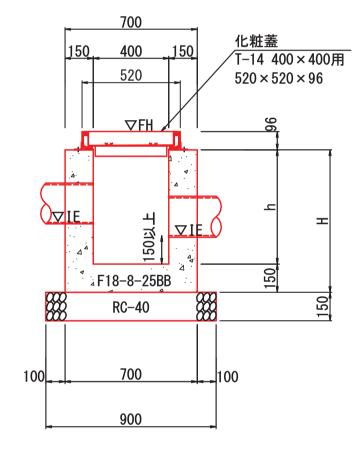
断 面 図

FH IE1 IE2 IE3 IE4

A-1 670 520 +0.64 +0.24

A-3 670 520 +0.40 ±0.00

A-2 780 630 +0.50 +0.10 -0.01 -0.01

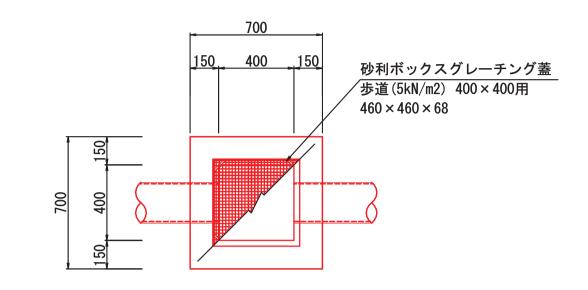


名称	Н	h	FH	IE1	IE2	IE3	IE4
B-1	694	544	+1. 24	+0. 94	+0. 94	+10. 75	
B-2	754	604	+1. 24	+0. 94	+0. 69	+0. 69	
B-3	654	504	+1. 12	+0. 72	+0. 67	+0. 67	
B-4	604	454	+1. 18	+0. 78			
B-5	604	454	+1. 26	+0. 96	+0. 86		
B-6	604	454	+1. 24	+0. 94	+0. 84		
B-7	604	454	+1. 21	+0. 91	+0. 81		
B-8	734	584	+1. 26	+0. 96	+0. 96	+0. 73	+0. 73
B-9	704	554	+1. 21	+0. 71	+0. 71		
B-10	774	624	+1. 26	+0. 69	+0. 69		
B-11	864	714	+1. 29	+0. 63	+0. 85	+0. 63	

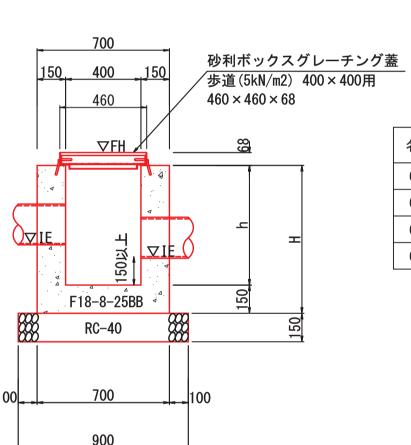
	1				
B-1	B-2	B-3	B-4	B-5	B-6
VU φ 200 IE3 VU φ 50 VU φ 50 IE2 VU φ 50 IE1	VU φ 200 IE3 VU φ 200 IE2 VU φ 50 IE1	VU φ 200 IE3 VU φ 200 IE1 VU φ 200 IE2	VU φ 200 IE1	VU φ 200 IE2 VP φ 50 IE1	VU φ 200 IE2 VU φ 50 IE1
B-7	B-8	B-9	B-10	B-11	
VU φ 50 IE1 VU φ 200 IE2	VU φ 50 VI φ 50 VI φ 200 VU φ 200 IE4	VU φ 200 IE1 VU φ 200 IE2	VU φ 200 IE2 IE1	VU φ 200 IE2 VŪ φ 200 VŪ φ 200 IE3 IE1	

集水桝C S=1:20

平 面 図



断 面 図



l -	900		
C-1	C-2	C-3	C-4
VU φ 200 IE2 VU φ 200 IE1	VU φ 200 IE2 VU φ 200 IE1	VU φ 200 IE1	U字溝180 U字溝180 IE2 IE1 VU ϕ 200 IE3

IE1 IE2 IE3 IE4

FH

C-4 632 482 +1.24 +0.99 +0.99 +0.84

 C-1
 662
 512
 +1.16
 +0.73
 +0.73

 C-2
 632
 482
 +1.12
 +0.72
 +0.72

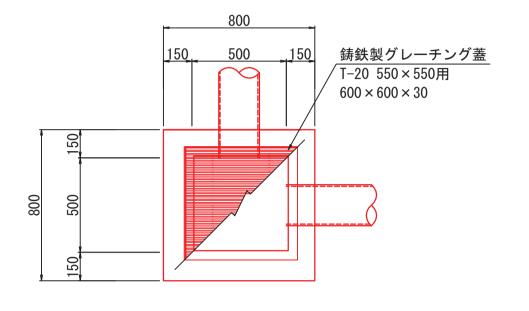
C-3 632 482 +1.26 +0.86

特記	工事名称	図面尺度 日付	区分	図面番号
	東秩父村新庁舎建設工事	図示(A1) 図示(A3)	総合	A-160
	詳細図-14(集水桝構造図-1)			

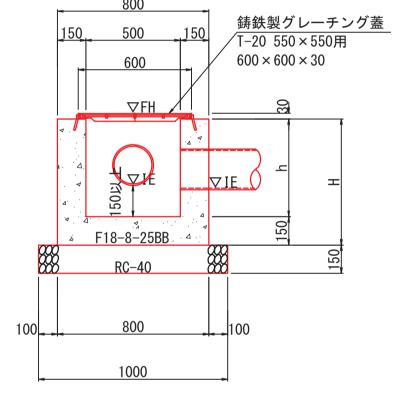
集水桝構造図-2 _{S=1:20}

集水桝D S=1:20

平 面 図



断面図

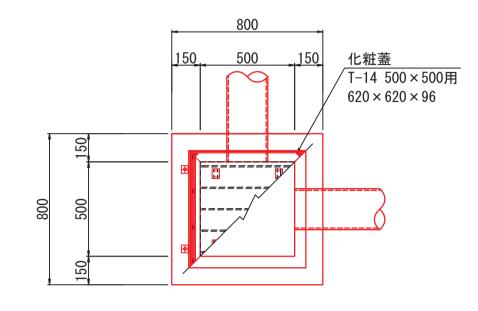


名称	Н	h	FH	IE1	IE2	IE3	IE4
D-1	870	720	+0. 64	+0. 04	+0. 20	+0. 04	
D-2	870	720	+0. 50	-0. 10	-0. 02	-0. 10	
D-3	870	720	+0. 26	-0. 34	-0. 34		
D-4	710	560	+0. 25	-0. 19	-0. 15	-0. 19	
D-5	950	800	+0. 25	-0. 43	-0. 22	-0. 43	
D-6	680	530	+0. 17	-0. 24			
D-7	870	720	-0. 50	-0. 91	-1. 10		
D-8	1170	1020	-0. 74	-1. 34	-1. 64		
D-9	1030	880	-0. 94	-1. 70	-1. 70		

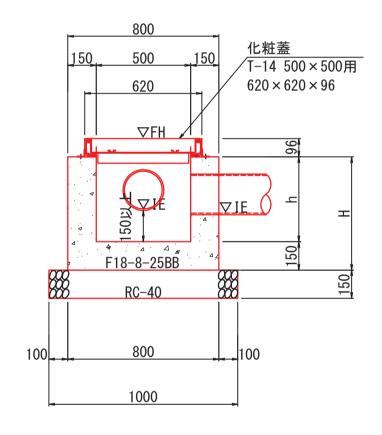
D-1	D-2	D-3	D-4	D-5	D-6
VU ϕ 300 に スリット側溝 300 × 300 LE2 VU ϕ 300 LE1	VU φ 300 IE3 VU φ 200 VU φ 300 IE1	VU φ 300 IE2 VU φ 300 IE1	VU φ 200 IE3 IE2 スリット側溝 300 × 300 IE1	VU φ 300 IE3 VU φ 300 IE1	長尺U字溝 300×300 IE1
D-7	D-8	D-9			
長尺U字溝 IE2 300×300 IE1	VU φ 300 VU φ 300 IE1 IE2	VU φ 300 VU φ 300 IE1 IE2			

集水桝E S=1:20

平 面 図



断面図

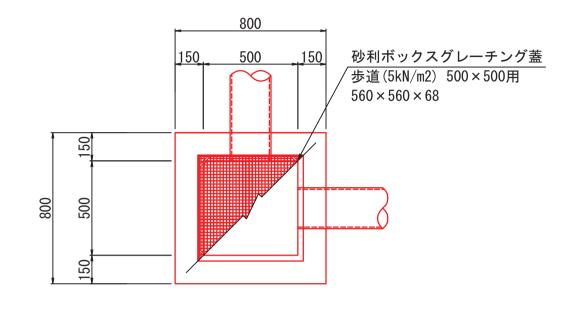


名称	Н	h	FH	IE1	IE2	IE3	IE4
E-1	814	664	+1. 18	+0. 57	+0. 78	+0. 88	+0. 57
E-2	834	684	+1. 18	+0. 88	+0. 55	+0. 55	
E-3	954	804	+1. 19	+0. 44	+0. 79	+0. 44	
E-4	604	454	+0. 43	+0. 03	+0. 03		
E-5	1064	914	+1. 32	+0. 46	+0. 58	+0. 82	+0. 46

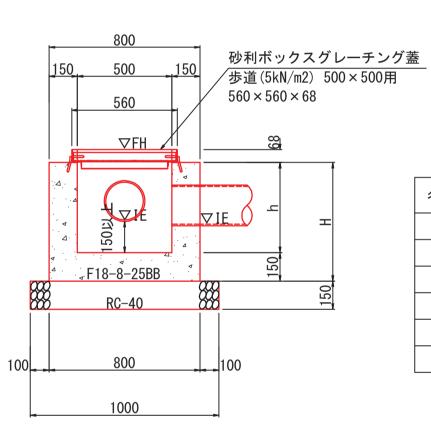
E-1 E-2		E-3	E-4	E-5		
	VU φ 200 IE4 IE1 VU φ 50 IE3 VU φ 200 IE2	VU φ 200 <u>IE3</u> <u>IE2</u> VU φ 50 IE1	VU φ 200 IE1 VU φ 200 IE3 VU φ 200 IE2	VU φ 200 VU φ 200 <u>IE2</u> <u>IE1</u>	VU φ 200 IE4 VU φ 200 VU φ 200 IE1	

集水桝F S=1:20

平 面 図



断 面 図



名称	Н	h	FH	IE1	IE2	IE3	IE4
F-1	632	482	+1. 20	+0. 83	+0. 80		
F-2	732	582	+1. 26	+0. 76	+0. 76		
F-3	732	582	+1. 13	+0. 63	+0. 63		
F-4	842	692	+1. 19	+0. 58	+0. 58		
F-5	1122	972	+1. 37	+0. 48	+0. 48		
F-6	992	842	+1. 18	+0. 42	+0. 42		

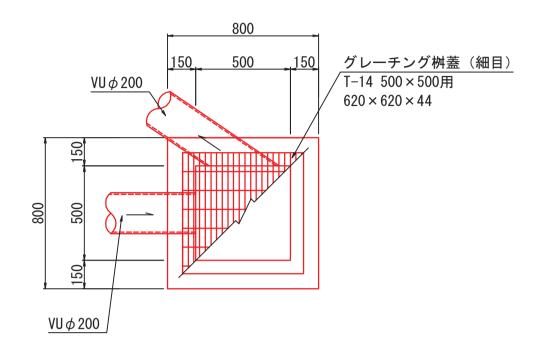
F-1	F-2	F-3	F-4	F-5	F-6
VU φ 200 ———————————————————————————————————	IE2 IE1	浸透トレンチ 浸透トレンチ	浸透トレンチ 浸透トレンチ	VU φ 200 IE2 浸透トレンチ φ 200 IE1	VU φ 300 IE2 VU φ 300 <u>IE1</u>

特記	工事名称	図面尺度	日付	区分	図面番号
	東秩父村新庁舎建設工事				
		図示(A1)		総合	A-161
	図面名称	図示(A3)		松百	A-101
	詳細図-15(集水桝構造図-2)	E 71 (110)			

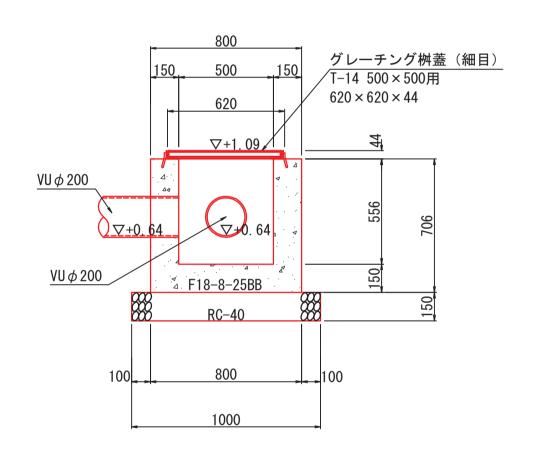
集水桝構造図-3 _{S=1:20}

集水桝G S=1:20

平 面 図

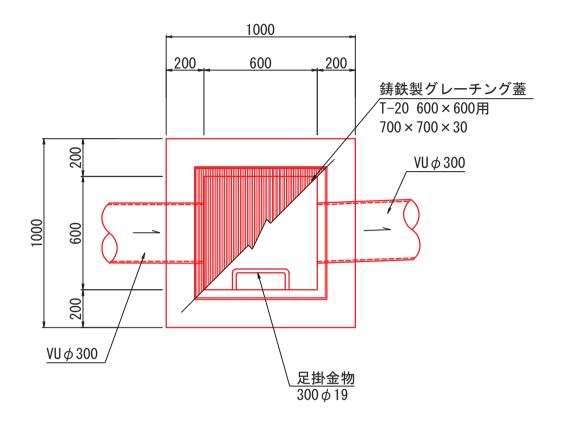


断 面 図

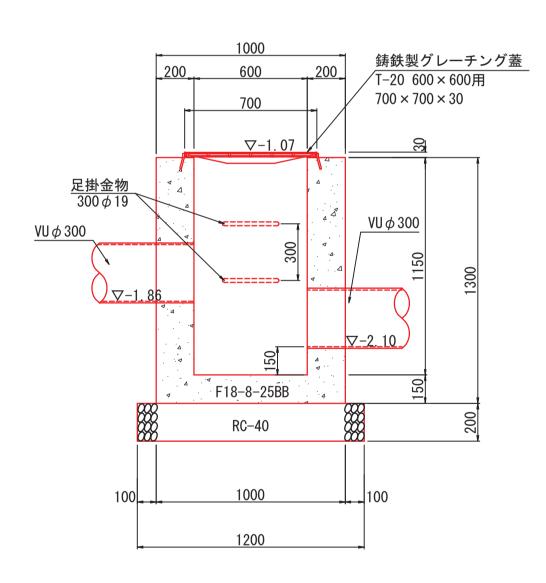


集水桝H S=1:20

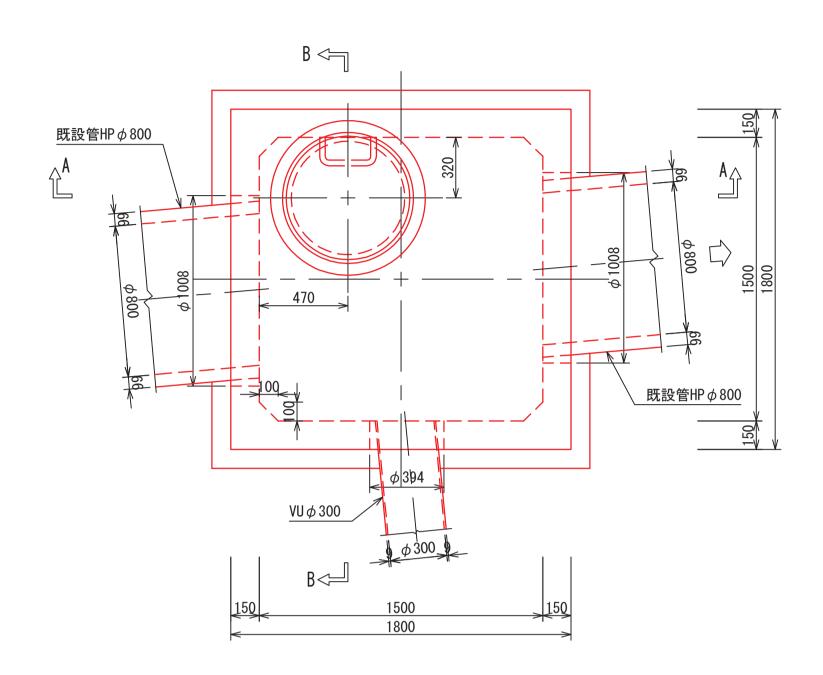
平 面 図

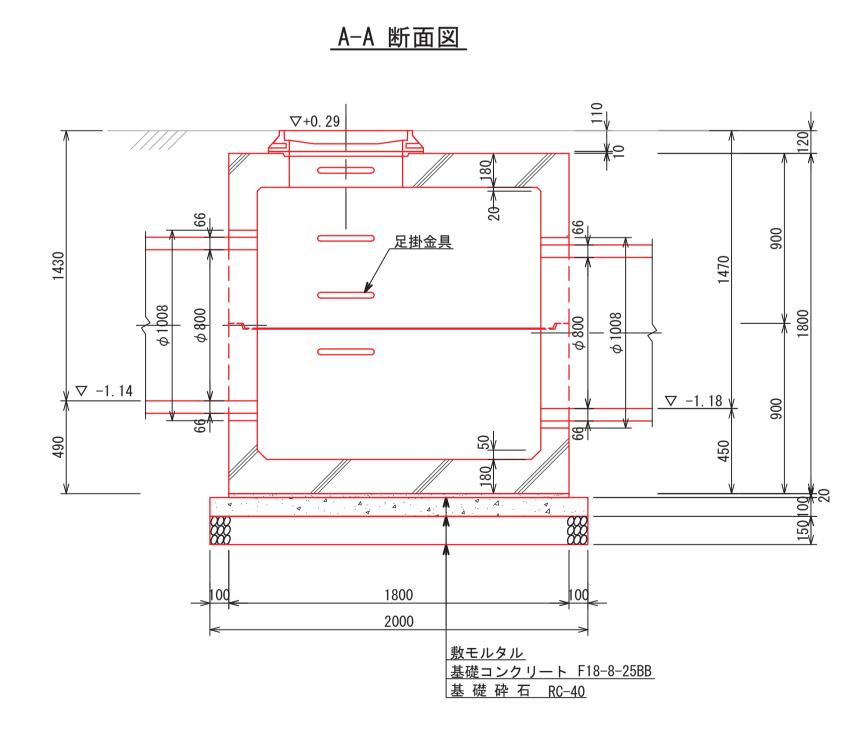


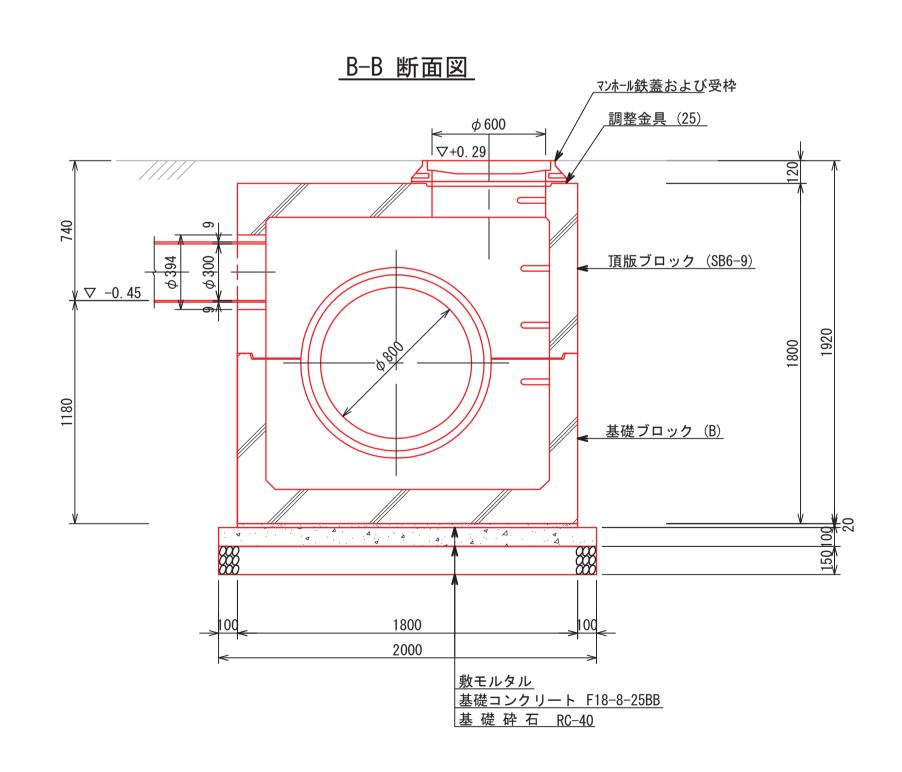
断 面 図



平面図

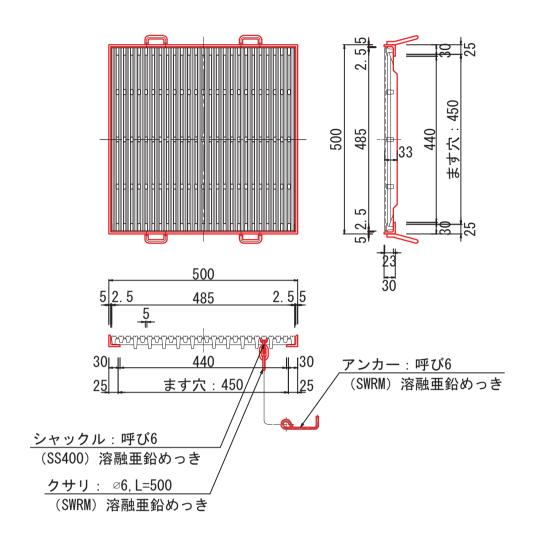




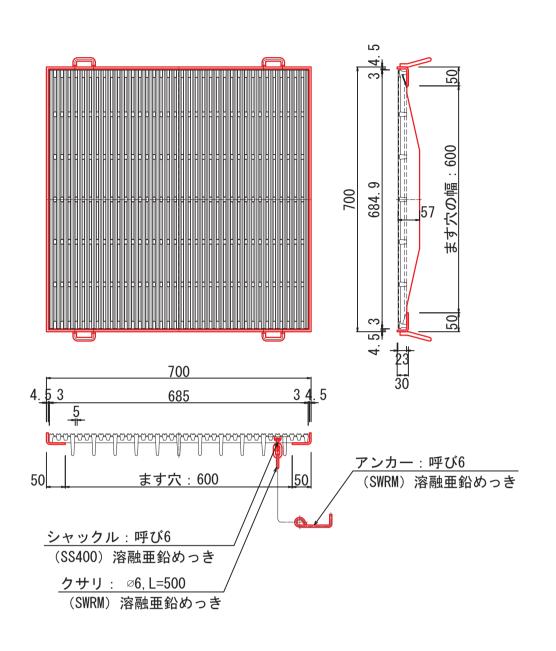


工事名称	図面尺度	日付	区分	図面番号
東秩父村新庁舎建設工事	図示(A1)			
図面名称			総合	A-163
詳細図-17(箱形マンホール構造図)	図示(A3)			

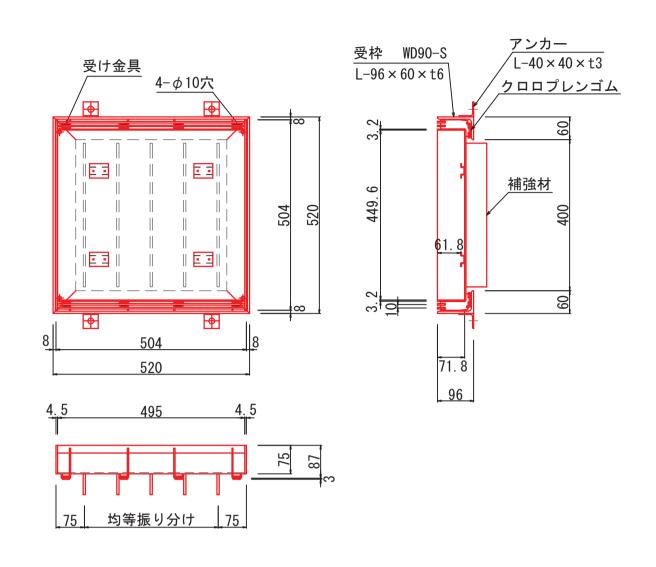
鋳鉄製グレーチング蓋 S=1:10 T-20 450×450用



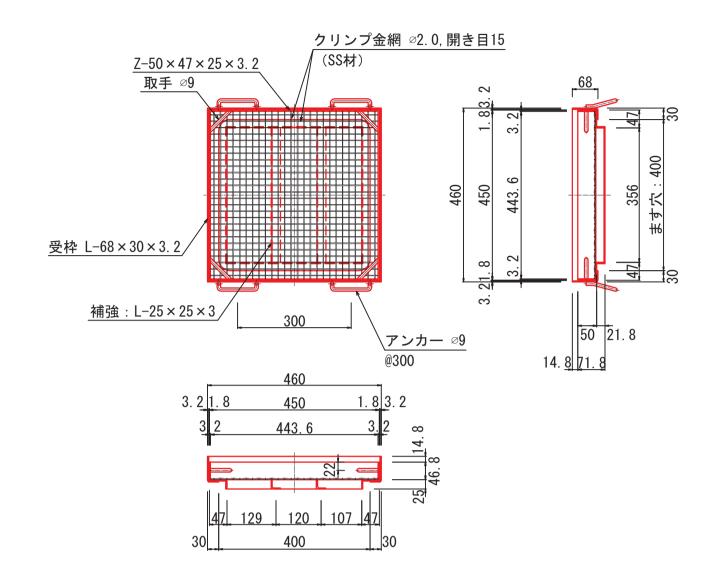
鋳鉄製グレーチング蓋 S=1:10 T-20 600×600用



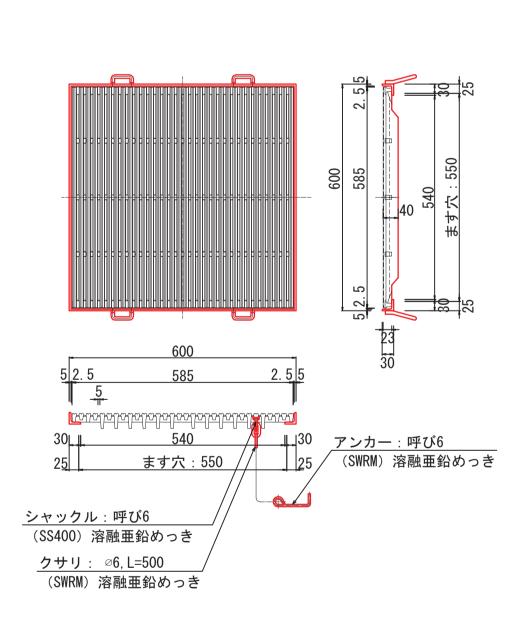
<u>化粧蓋</u> S=1:10 T-14 400×400用



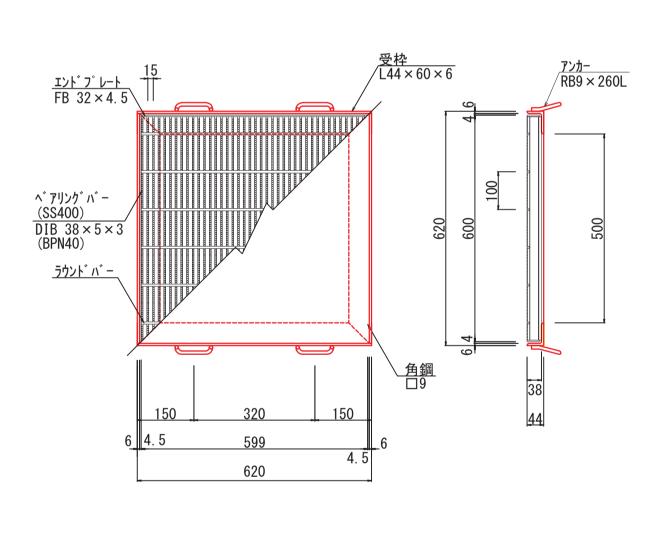
砂利ボックスグレーチング蓋 S=1:10 歩道(5kN/m2) 400×400用



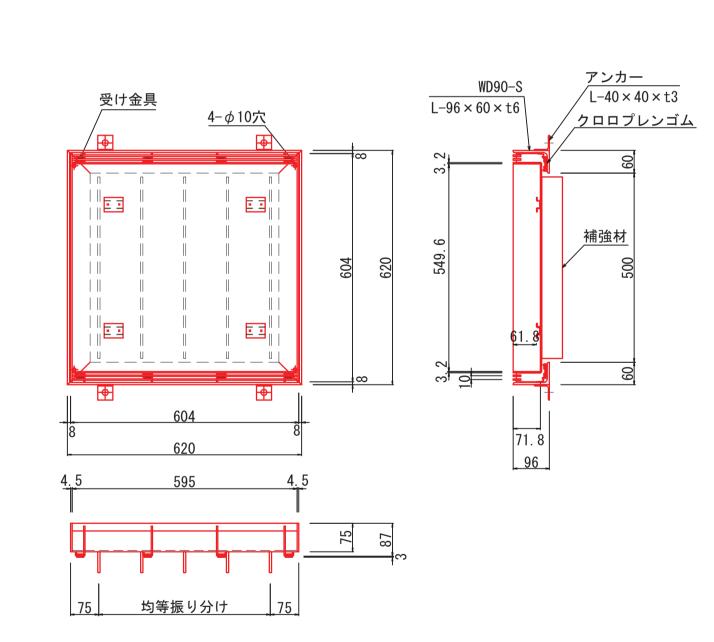
鋳鉄製グレーチング蓋 S=1:10 T-20 550×550用



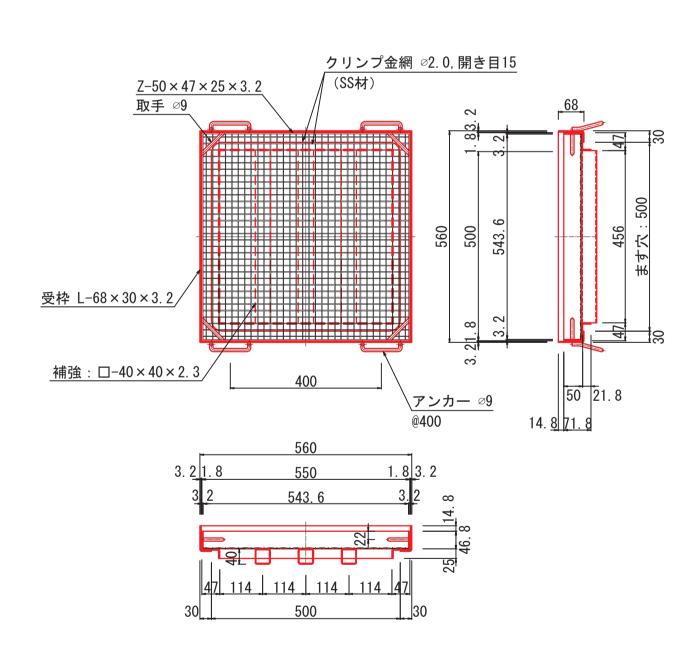
グレーチング蓋(細目) S=1:10 T-14 500×500用



<u> 化粧蓋 S=1:10</u> T-14 500×500用

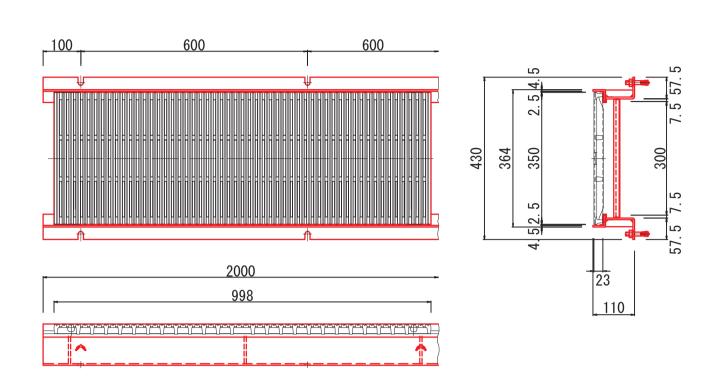


砂利ボックスグレーチング蓋 S=1:10 歩道(5kN/m2) 500×500用

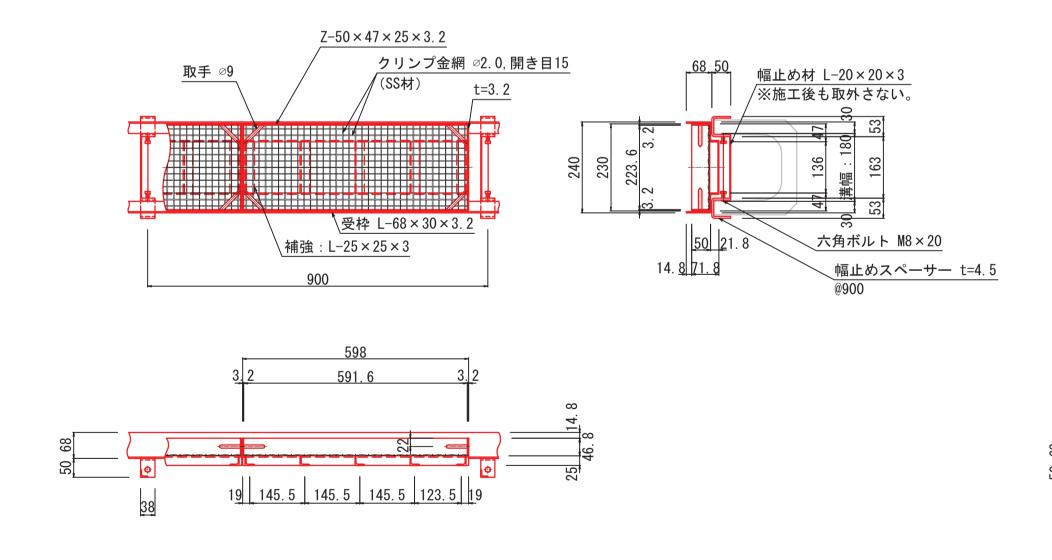


工事名称	図面尺度	日付	区分	図面番号	
東秩父村新庁舎建設工事	1/10(A1)				
図面名称			総合	A-164	
詳細図-18 (排水施設蓋詳細図-1)	1/20 (A3)				

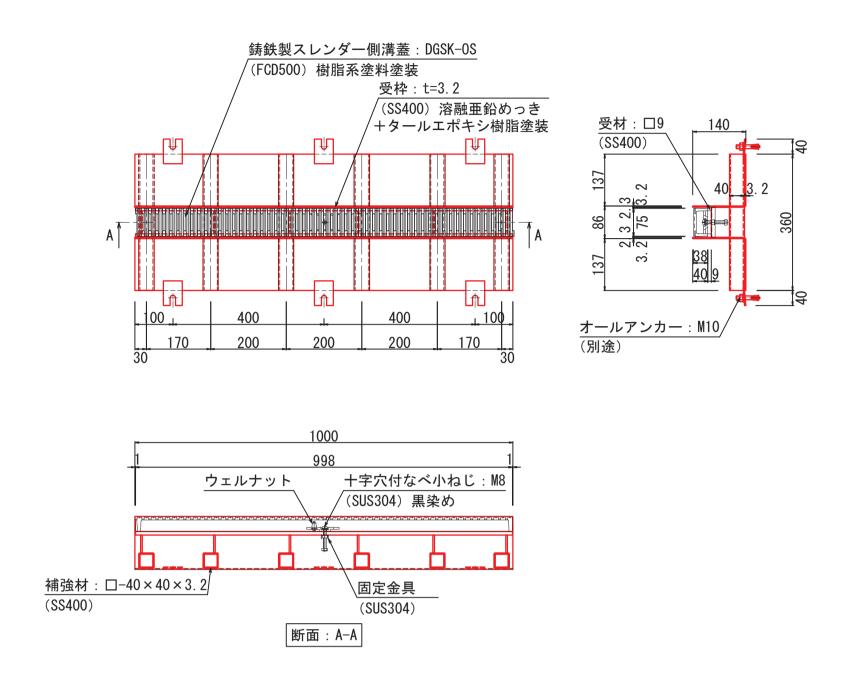
鋳鉄製グレーチング側溝蓋 S=1:10 T-20 300×300用



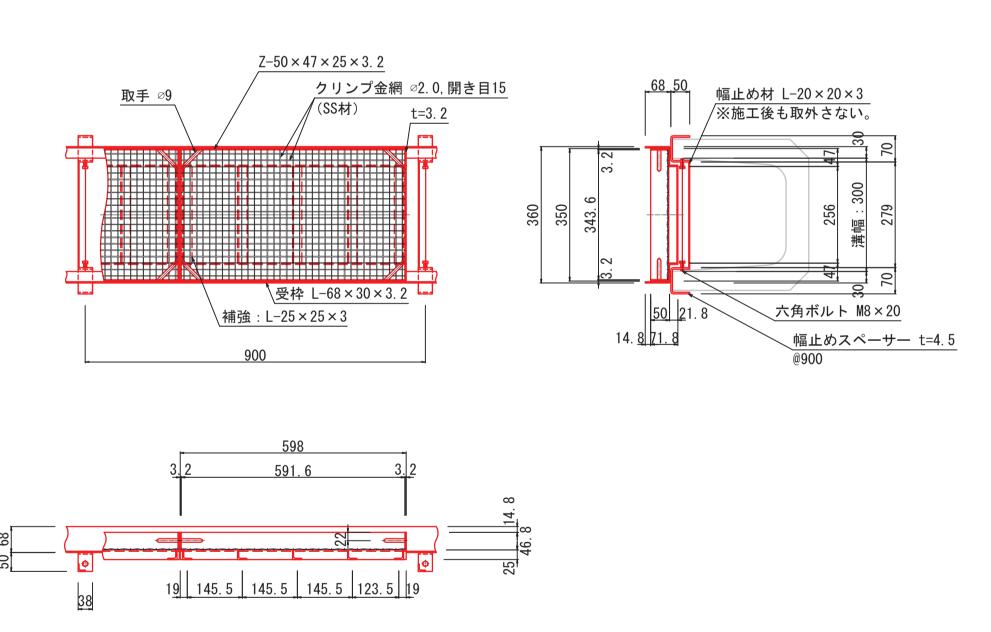
砂利ボックスグレーチング側溝蓋 S=1:10 歩道(5kN/m2) U180用



<u>鋳鉄製スレンダー側溝蓋</u> S=1:10 T-20 300×300用



砂利ボックスグレーチング側溝蓋 S=1:10 歩道(5kN/m2) U300B用



工事名称	図面尺度	日付	区分	図面番号
東秩父村新庁舎建設工事	1/10(A1)			
図面名称			総合	A-165
詳細図-19 (排水施設蓋詳細図-2)	1/20 (A3)			

